

令和7年度

管路移設事業

白市地区配水管移設工事

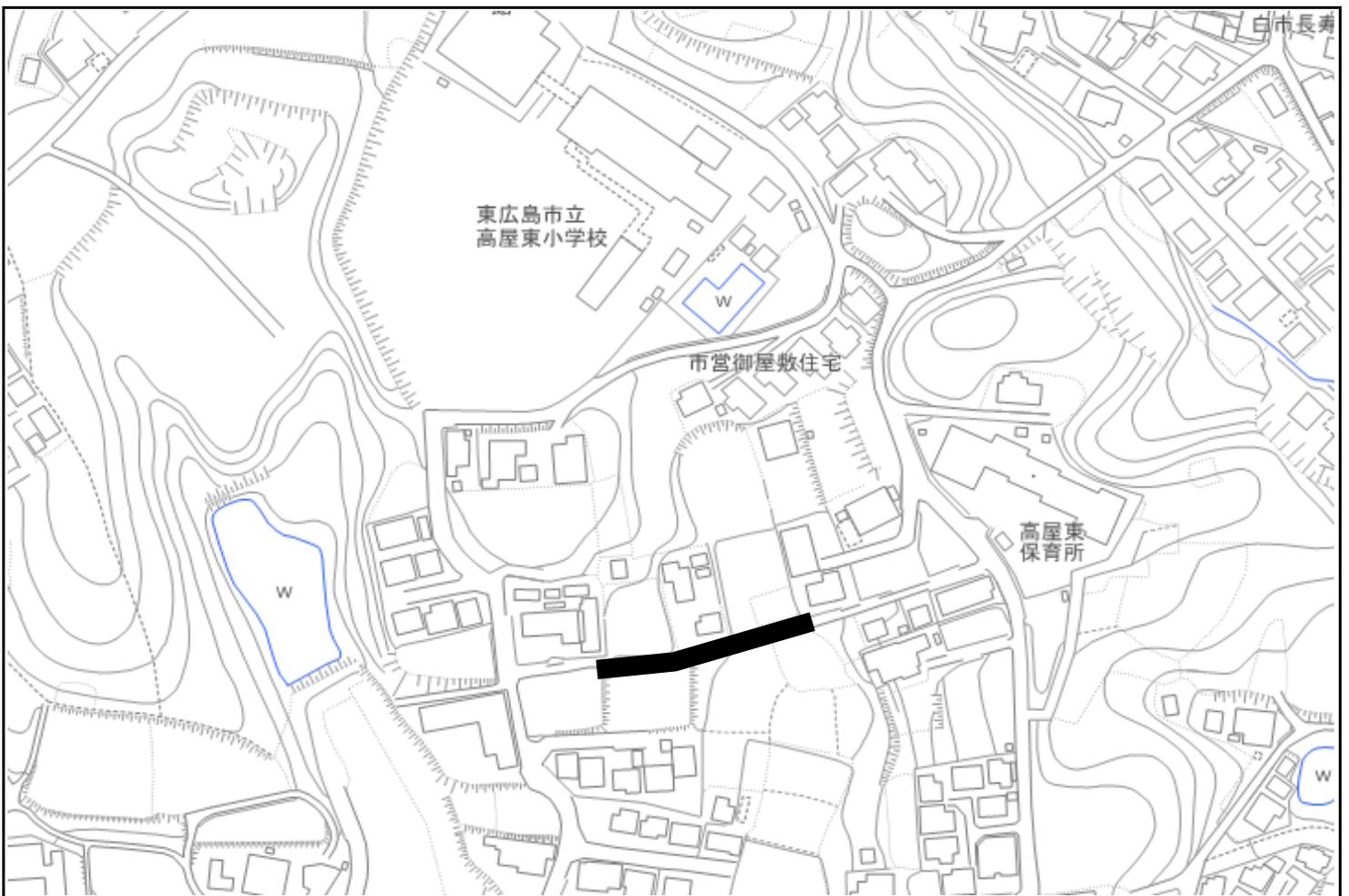
仕様書

工 事 場 所 東広島市高屋町白市

# 令和7年度 管路移設事業 白市地区配水管移設工事 位置図



## 詳細図



# 特記仕様書

(白市地区配水管移設工事)

## 第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等
12. 建設副産物の取り扱いについて
13. 配管従事者の条件等

## 第2章 工事材料

1. 使用材料

## 第3章 施工条件

1. 工程
  - (1) 関連する別途工事
2. 安全対策
  - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
3. 仮設備
  - (1) 仮設電力設備
4. 盛土・埋戻土
  - (1) 購入土(搬入)(建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土)
  - (2) 購入土(搬入)(新材料)
5. 建設副産物
  - (1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地
  - (2) アスファルト殻(搬出)
  - (3) 建設汚泥(搬出)
6. 工事支障物件
  - (1) 地下・地上障害物
7. その他
  - (1) 部分使用
  - (2) 工事中の安全確保
  - (3) 施工時期及び施工時間の変更
  - (4) 水圧試験
  - (5) 工事の施工について【配水管】
  - (6) 水道技術管理補助者検査について

## 第4章 施工管理

1. 出来形管理
  - (1) 出来形管理報告

2. 品質管理
- (1) 品質管理報告

第5章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 提出書類

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県）」に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 水道編については広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき施工管理するものとする。
- (2) 「広島県」とあるのは「広島県水道広域連合企業団東広島事務所」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (3) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (4) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (5) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (6) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (7) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (8) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」と読み替える。
- (9) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (10) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (11) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (12) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (13) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。
- (14) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書納品の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書納品の納品		適用しない。

3	1	2	5	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	6	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

## 2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

## 3. 現場代理人の兼務

- 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
  - 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
  - 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
    - 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
    - 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日を定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
    - 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
    - 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
    - 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
    - その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
  - 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

## 4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、関連する別途工事との工程調整を図り、3月末日までに現場作業を終了すること。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

## 5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

## 6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面（写し）を提出するものとし、更新手続き（許可内容が同じもの）の場合は、届出等の鑑のみとする。

## 7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

- 本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
- 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。

- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。  
広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）  
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。  
この場合においては、次のとおりとする。
- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
  - 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
  - 3) 「4.検査」は適用しない。
  - 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
  - 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

#### 8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。  
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
- 1) 補正方法
    - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。  
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
    - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
    - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
  - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

#### 9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

広島県水道広域連合企業団東広島事務所発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

## 10. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

## 11. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

## 12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のお取り扱いすることとする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

### 1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

### 2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

### 3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

### 4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

### 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m<sup>3</sup>以上の工事を対象とする。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関

する次に掲げる事項

- (1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
- (2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

#### 6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

#### 7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

#### 8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

#### 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

#### 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

#### 11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

#### 12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

#### 13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

#### 13. 配管従事者の条件等

- 1 水道配水用ポリエチレン管の配管従事者は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会（以下「POLITEC」という。）による「水道配水用ポリエチレン配管施工講習受講証」を有する者とし、POLITECによる「水道配水用ポリエチレン配管施工講習受講証」の写しを提出すること。

## 第2章 工事材料

### 1. 使用材料

(1) 一般土木資材及び配管材料等の使用材料の有効年月は下表のとおりとし監督職員の承認及び材料確認を受けたものを使用すること。なお、滑剤及び切管用補修剤についても提出すること。

種別	材料名	有効年月	備考
一般土木資材	プレキャスト製品	製造1年未満	
配管材料	ポリエチレン管	同上	
	塩化ビニル管	同上	
	弁・栓類	同上	
	接合材	同上	ボルト・ナット・パッキン
	管付属品	同上	ポリスリーブ・ロケティングワイヤー・管明示テープ
	ボックス類	同上	

※ 管明示テープについては、当該年度または、当該施工年度とし、統一して使用すること。

なお、上記により難しい場合に、(公社)日本水道協会の検査合格後3年以内で保管状況の良好な材料であれば、監督職員の承認及び確認を受けて使用できるものとする。

(2) φ400以下の仕切弁は、ソフトシール仕切弁とし、φ450以上の仕切弁については、軽トルク・内面粉体塗装のバタフライ弁とする。

(3) 空気弁は、急速空気弁(φ20またはφ25)・FCD・内外面粉体塗装とし、空気弁のカバーの高さは道路天より11~20cm下がりとなるようにフランジ短管等により調整すること。

なお、空気弁は水平(許容傾斜角度2°以内)に据え付けること。

やむを得ない現場条件により許容傾斜角度を超える場合は、製造会社の保証する傾斜角度以内で据え付けることができるものとする。なお、保証傾斜角度が確認できる傾斜作動試験等の成績証明書を提出すること。

(4) 補修弁は、FCD・内外面粉体塗装・RF-GF形・ボール式・右開・面間寸法を100mm又は150mmとする。

(5) 仕切弁・消火栓・空気弁・空気弁付消火栓のボックスについては、広島県水道広域連合企業団東広島事務所認定の「東広島市型」とし、型式は広島県水道広域連合企業団東広島事務所に問い合わせること。

調整リングの材質については、レジンコンクリート製(日水協検査品)を標準としているが、樹脂製又は鋳鉄製によるものの使用についても承諾する。

(6) フランジ継手工は、緩み防止のため、ボルト、ナットにワッシャ(平座金)を取り付けること。

なお、フランジ継手材の材質については、以下のとおりとするが、原則RF-GF形とする。

- ・フランジ用パッキン(RF-RF)は、凸部付きパッキン(日水協検査品)とする。
- ・フランジ用パッキン(RF-GF)は、GF形ガスケット1号(JIS G 5527)とする。
- ・フランジ用ボルト、ナット及びワッシャは、SUS製とする。なお、ボルト又はナットのねじ部に焼き付き防止処理を施したものを使用しなければならない。

(7) 仕切弁は原則、右回り開とするが黒瀬町内に設置する仕切弁についてのみ左回り開とする。

(8) ポリエチレンスリーブについては、本工事では日本水道協会認定品で設計しており、実際の使用材料がこれによらない場合は事前に監督職員と協議を行うこと。

### 第3章 施工条件

#### 1. 工程

##### (1) 関連する別途工事

工事名	高屋東地区污水管渠建設及び排水路改修工事
影響箇所	全区間
他工事の内容	污水管渠建設・水路改修
時期	令和7年7月~令和8年3月

#### 2. 安全対策

##### (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から10日間(2人/日)を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

#### 3. 仮設備

##### (1) 土留工

本工事における矢板工は掘削深さが1.5mを超える場所に矢板建込工法を見込んでいるが、土留の種類及び施工方法については受注者の任意とし、契約変更の対象としない。

ただし、現場条件に変更が生じた場合は、監督職員と協議すること。

#### 4. 盛土・埋戻土

##### (1) 購入土(搬入)(建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土)

本工事では、48m<sup>3</sup>(ほぐし)の土砂購入を見込んでいる。

① 当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土(改良土を含む。)を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費(工場渡し)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用(単価)は変更しない。

② ①により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督職員と協議すること。

③ 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。

##### (2) 購入土(搬入)(真砂土)

本工事では、20m<sup>3</sup>(ほぐし)の真砂土購入を見込んでいる。

#### 5. 建設副産物

##### (1) 建設発生土(搬出)(建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

(名称)	株式会社大地リサイクルセンター第3処分場
(所在地)	東広島市河内町戸野字荏田5861
(運搬距離)	10.0 km

##### (2) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 10.0 km を見込んでいる。

##### (3) 建設汚泥(搬出)

・舗装の切断作業時に発生する排水(汚泥)は、産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、適正に処理しなければならない。

・舗装の切断作業時に発生する排水 0.2m<sup>3</sup> は、建設汚泥として、汚泥の産業廃棄物処分業の中間処理の許可を受けている産業廃棄物中間処理施設に搬出するものとする。なお、搬出先は、運搬費と受入費の合計が最も安価になる施設を見込んでおり、設計変更の対象としない。

また、運搬距離は 10.0 km を見込んでいる。

・受注者は、舗装の切断作業時に発生した排水の委託処理に関する契約書の写しを提出すること。また、工事完成後、速やかに本工事の工事名を記載して交付したマニフェストの写しを監督員に提出すること。ただし、アスファルトコア採取の排水については、受注者において適正に管理するものとし、提出は求めない。

・実施数量は、次の計算式又はマニフェストの実績の少ない方で契約変更するものとする。

計算式 排水量 $V=0.023 \times t \times L$  (  $t$  : 舗装厚 (m) 、  $L$  : 切断延長 (m) )

※舗装版の種類は、アスファルト及びコンクリートを問わない。

なお、適正な処理の実施に際して、排水を脱水処理することができる場合等は、協議の上、当該排水の運搬処理費の削除等について契約変更できるものとする。

## 6. 工事支障物件

### (1) 地下・地上障害物

支障物件名	汚水管渠
管理者	東広島市
位置	全区間
工事方法	開削
防護方法	なし

## 7. その他

### (1) 部分使用

本工事においては、通水試験(水圧試験)及び水道技術管理補助者の検査に合格後、部分的に使用したいので使用できる状態とすること。

### (2) 工事中の安全確保

地下埋設物等の調査結果、必要であれば監督職員と協議の上、試掘を行い、地下埋設物の位置等を確認すること。試掘調査の結果、地下埋設物件等が支障となる場合は、対応方法について監督職員と協議すること。

### (3) 施工時期及び施工時間の変更

休日・夜間作業届については、FAX・メール・工程会議等で、監督職員・請負者双方が、「作業日及び作業時間」「作業場所」「作業理由」「作業内容」について把握していれば、改めて提出しなくてよいものとする。

### (4) 水圧試験

本工事において、監督職員が指示する期日までに以下の通水試験(水圧試験)を行い合格すること。

#### ・水道配水用ポリエチレン管

管路の水圧を0.75MPaに上昇させ、5分間放置する。

5分間放置後、水圧を0.75MPaまで再加圧する。

再加圧後、すぐに水圧を0.50MPaまで減圧し、そのまま放置する。

放置してから、24時間後の水圧が0.30MPa以上であること(PEPの場合)

### (5) 工事の施工について【配水管】

- ①工事着手前に近隣住民に工事の通知を行うこと。また、施工にあたっては道路使用の許可条件を遵守し、工事看板等の安全施設を設置すること。
- ②配水管と他の構造物との離隔は、布設の管種・口径に関わらず、管外面から地下埋設物外面間の離隔を交差・並列ともに、離隔を30cm以上確保することとし、離隔を30cm以上確保できない場合には、監督職員と協議すること。
- ③施工時に現場と設計に相違があることが判明した場合は、監督職員に報告し、指示を仰ぐこと。また、設計変更が生じる場合は、監督職員と協議すること。
- ④床付面に岩石、コンクリート塊等の支障物が出た場合は床付面より10cm以上取り除き、砂等に置き換えること。
- ⑤仮復旧は管布設後、当日中に施工すること。
- ⑥現場発生品は清掃及び切管部及び損傷部の補修をした後、監督職員の指示する場所に納品すること。
- ⑦管理設シートは、極力切断せずに埋設すること。やむを得ず切断した場合は、1m以上重ね合わせること。
- ⑧ポリエチレンスリーブは土中でのダクタイル鋳鉄管の腐食に対するものであるため、接続部については継手部の凹凸等になじむようにたるませて確実に重ね合わせること。

### (6) 水道技術管理補助者検査について

- ①給水管分岐替工等で、管路の部分使用(配水開始)をする場合、原則として事前に通水試験(水圧試験)及び水道技術管理補助者検査に合格すること。
- ②設計図書以外の給水分岐工事に着手する際は、原則として事前に通水試験(水圧試験)及び

水道技術管理補助者検査に合格すること。

③工事が完成した時は、水道技術管理補助者による検査を受検すること。

## 第4章 施工管理

### 1. 出来形管理

#### (1) 出来形管理報告

広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき、出来形管理を行い、現場作業の完了後、速やかに出来形管理図表、出来形数量対比図表を提出すること。

### 2. 品質管理

#### (1) 品質管理報告

広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき、品質管理を行い、現場作業の完了後、速やかに品質管理図表、各種試験成績図表を提出すること。

## 第5章 その他

### 1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

### 2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和7年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、1部とする。

### 3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

### 4. 提出書類

- (1) 第1編 1-1-1-2 第15～21項については、工事打合せ簿で行うものとする。
- (2) 工事日報は広島県水道広域連合企業団東広島事務所仕様とし、週ごとに施工した部分を翌週に提出すること。  
工事日報の提出にあたっては、施工部分の継手チェックシートを添付すること。  
なお、工事日報及び継手チェックシートには任意のNoを設け相互にリンクさせること。
- (3) 最初の測点で撮影した土工及び管布設工の写真を仮工事写真として施工後、速やかに提出し、監督職員の確認を受けること。
- (4) 納品書(写し)又は出荷証明書(原本)は集計表を添付して提出すること。
- (5) 広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」に基づき、出来形管理並びに品質管理を行い、現場作業の完了後、速やかに出来形管理図表、出来形数量対比図表、品質管理図表、各種試験成績図表を提出すること。また、横断図には占用位置として、官民境界又は構造物からの離隔を記入すること。
- (6) 竣工図は工事日報とあわせて、順次作成を行い現場作業が完了後、速やかに提出すること。なお、横断図は測点ごとに作成し、延長が50m未満の場合は、監督職員が指示する箇所において作成すること。
- (7) 工事写真は広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」に基づいて写真管理を行い、現場作業が完了後、速やかに提出すること。なお、土工関連写真と本管布設位置及び管布設関連写真は分冊として提出すること。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
管路(水道)				レベル1
配水管布設工 PEP(EF) 75		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	180	レベル4
舗装版破碎	舗装厚 10cm以下	m2	53	レベル4
管路掘削	ハック杓排出対策型	式	1	レベル4
真砂詰工	B<1.0 ハック杓排出対策型	式	1	レベル4
管路埋戻	ハック杓排出対策型 購入土	式	1	レベル4
路盤工	仕上厚 11cm, 施工幅 1.8m未満 再生粒調碎石	m2	1	レベル4
仮復旧	t=3cm, フライコートなし 締固め後密度 2.35t/m3	式	1	レベル4
殻運搬処理	ハック杓排出対策型 As(密度2.35t/m3)	m3	2	レベル4
残土処理工	ハック杓 排出対策型	式	1	レベル4
土留工		式	1	レベル3
支保工		式	1	レベル4
土留工		式	1	レベル4
配水管布設工		式	1	レベル3
水道配水用ホリシリン管	EF受口付直管 片受タイプ 75×5.0M	本	13	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
水道配水用ホリパイプ	プレキャスト 75×5.0M	本	4	レベル4
水道配水用ホリパイプ継手	EF45°ベント 片受タイプ 75	個	1	レベル4
水道配水用ホリパイプ継手	EF22 1/2°ベント 片受タイプ 75	個	1	レベル4
水道配水用ホリパイプ継手	EF11 1/4°ベント 片受タイプ 75	個	1	レベル4
水道配水用ホリパイプ継手	EF45°ベント 両受タイプ 75	個	5	レベル4
水道配水用ホリパイプ継手	EF22 1/2°ベント 両受タイプ 75	個	5	レベル4
水道配水用ホリパイプ継手	EF11 1/4°ベント 両受タイプ 75	個	1	レベル4
水道配水用ホリパイプ継手	EFチーフ 両受タイプ 75×50	個	1	レベル4
効力カット	75 PEP×塩ビ インナー有り	個	1	レベル4
効力カット	75 PEP×PEP インナー有り	個	1	レベル4
管明示テープ	巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	巻	4.5	レベル4
ポリエチレン管据付工	呼び径 75mm	m	88.9	レベル4
ポリエチレン管(融着接合)継手工	75	口	40	レベル4
ポリエチレン管切断	呼び径 75mm	口	12	レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設	呼び径 75mm	口	3	レベル4
鋳鉄継手工(メカニカル形)	50- 100 効力カット等	口	1	レベル4
空気弁設置工	75-PE両挿-0.8【口金式】(耐震補強金具含 東広島市型	箇所	1	レベル4
ホリパイプスリーブ被覆工	75【材工共】	m	3	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
カーテイングワイヤ-	被覆外径 4.4mm【材工共】	m	88.9	レベル4
管理設シート工	巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	m	88.2	レベル4
排水管設置工 HIVP(TS) 50		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	3	レベル4
舗装版破砕	舗装厚 10cm以下	m2	1	レベル4
管路掘削	バックホ排出対策型	式	1	レベル4
真砂詰工	B<1.0 バックホ排出対策型	式	1	レベル4
管路埋戻	バックホ排出対策型 購入土	式	1	レベル4
路盤工	仕上厚 11cm,施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	m2	1	レベル4
仮復旧	t=3cm,フライムコートなし 締固め後密度 2.35t/m3	式	1	レベル4
殻運搬処理	バックホ排出対策型 As(密度2.35t/m3)	m3	0.1	レベル4
残土処理工	バックホ 排出対策型	式	1	レベル4
排水管設置工		式	1	レベル3
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP-TS 50×4.0M	本	1	レベル4
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手	90°エルボ HITS継手 50	個	3	レベル4
効力カット	50 PEP×塩ビ インナー無し	個	1	レベル4
管明示テープ	巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	巻	0.1	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
ポリエチレン管据付工	呼び径 50mm	m	0.3	レベル4
仕切弁設置工	50-PE両挿-0.9 東広島市型	箇所	1	レベル4
硬質塩化ビニル管据付工	呼び径 50mm	m	1.6	レベル4
硬質塩化ビニル管切断	呼び径 50mm	□	3	レベル4
硬質塩化ビニル管継手工	呼び径 50mm TS継手	□	5	レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設	呼び径 50mm	□	1	レベル4
鋳鉄継手工(メカニカル形)	50-100 メカニカルケット等	□	1	レベル4
コンクリート等取り壊し復旧工		箇所	1	レベル4
ポリレンスリーブ被覆工	50【材工共】	m	2	レベル4
ケーシングワイヤ	被覆外径 4.4mm【材工共】	m	2.6	レベル4
管理設シート工	巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	m	1.5	レベル4
撤去・閉栓工		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	20	レベル4
舗装版破碎	舗装厚 10cm以下	m2	6	レベル4
管路掘削	バックホ排出対策型	式	1	レベル4
管路埋戻	バックホ排出対策型 購入土	式	1	レベル4
路盤工	仕上厚 11cm,施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	m2	6	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
仮復旧	t=3cm,フライムコートなし 締固め後密度 2.35t/m3	式	1	レベル4
殻運搬処理	バックホウ排出対策型 As(密度2.35t/m3)	m3	0.2	レベル4
残土処理工	バックホウ 排出対策型	式	1	レベル4
撤去・閉栓工		式	1	レベル3
メカニカルキャップ	75 塩ビ・鋼管	個	2	レベル4
水道用硬質塩化ビニル管継手	バルブ用カット HITS継手 50	個	2	レベル4
水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP-TS 50×4.0M	本	1	レベル4
水道用硬質塩化ビニル管継手	90°エルブ HITS継手 50	個	2	レベル4
水道用硬質塩化ビニル管継手	キャップ HITS継手 50	個	2	レベル4
撤去硬質塩化ビニル管吊上げ積込み	呼び径 25mm	m	5.3	レベル4
撤去硬質塩化ビニル管吊上げ積込み	呼び径 75mm	m	5.1	レベル4
撤去硬質塩化ビニル管切断	呼び径 75mm	口	2	レベル4
撤去ポリエチレン管切断	呼び径 75mm	口	1	レベル4
止水栓・ボックス撤去工		箇所	2	レベル4
廃プラスチック処理工		m3	0.1	レベル4
硬質塩化ビニル管据付工	呼び径 50mm	m	3.4	レベル4
硬質塩化ビニル管切断	呼び径 50mm	口	4	レベル4
硬質塩化ビニル管継手工	呼び径 50mm TS継手	口	8	レベル4

# 工事数量総括表

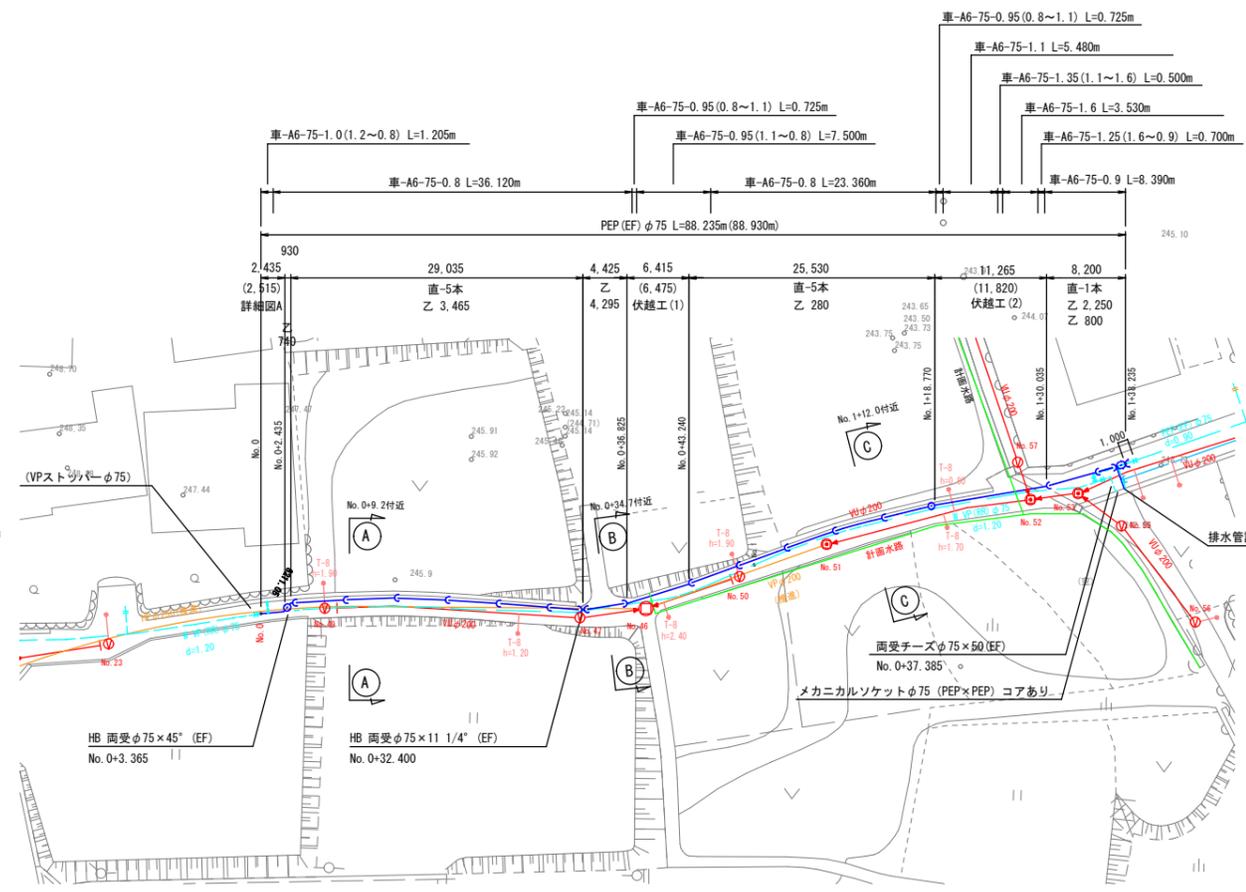
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
小口径管ねじ込み接合	呼び径 50mm	□	2	レベル4
鋳鉄継手工（メカニカル形）	50- 100 メカニカルソケット等	□	2	レベル4
ポリレンスリーブ被覆工	75【材工共】	m	2	レベル4
モルタル充填工		m <sup>3</sup>	0.2	レベル4
舗装版切断排水		式	1	レベル2
舗装版切断排水		式	1	レベル3
汚泥吸排車		式	1	レベル4
交通管理工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員B		人	20	レベル4
直接工事費				
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
通水試験		式	1	レベル4
共通仮設費率分額				
共通仮設費計				
純工事費				



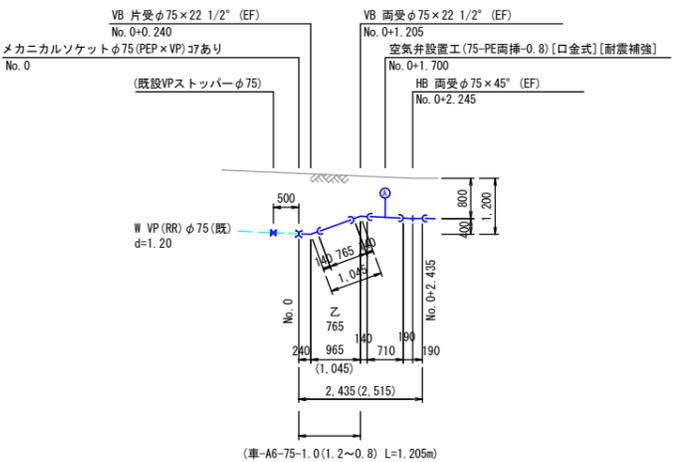
# 配水管移設平面図

S=1:350

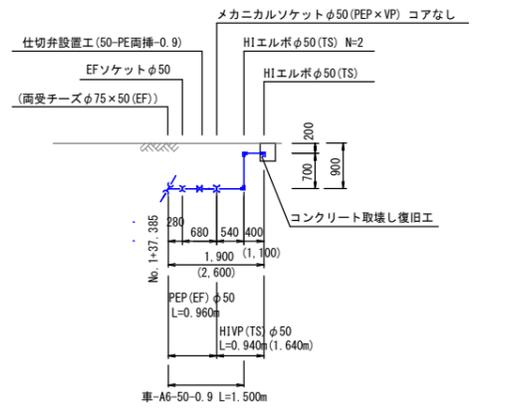
(白市地区)



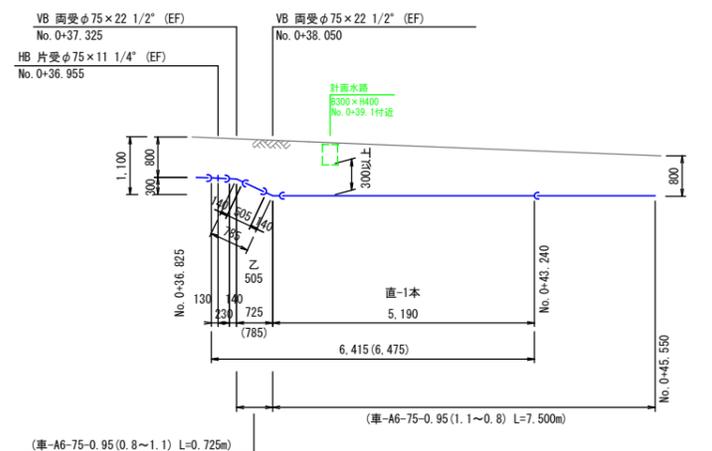
詳細図A S=1:70



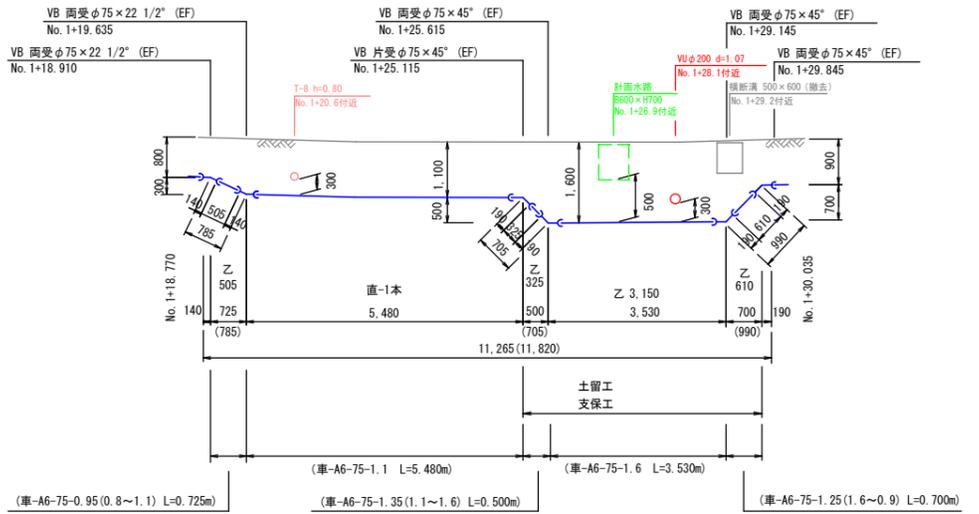
排水管詳細図 S=1:70



伏越工(1) S=1:70



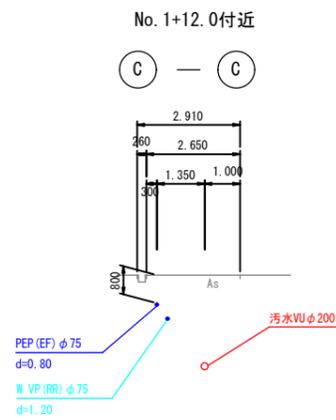
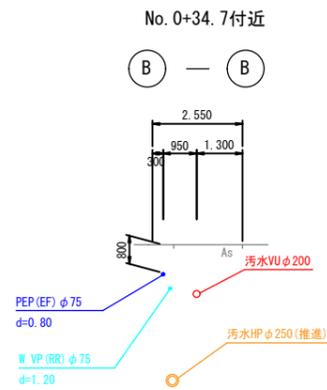
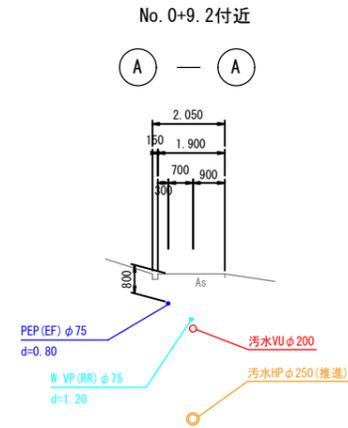
伏越工(2) S=1:70



設計水圧 PEP 0.69MPa  
フランジ 7.5K仕様

令和7年度 管路移設事業 白市地区配水管移設工事			
種別	配水管移設平面図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市高屋町白市	図	NO. 1
路線番号		番	計
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

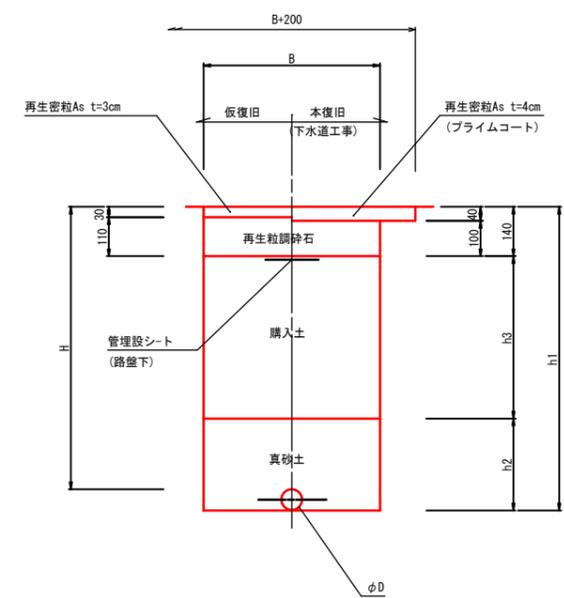
横断面  
S=1:100  
(白市地区)



床掘標準断面図  
S=1:10  
(白市地区)

車-A6-D-H  
※本復旧は下水道工事で実施予定

舗装構成  
表層 再生密粒度アスコン t=4cm  
路盤 再生粒調砕石 (RM-30) t=10cm  
仮復旧 再生密粒度アスコン t=3cm



※本工程では仮復旧までとし、本復旧は下水道工事で実施予定

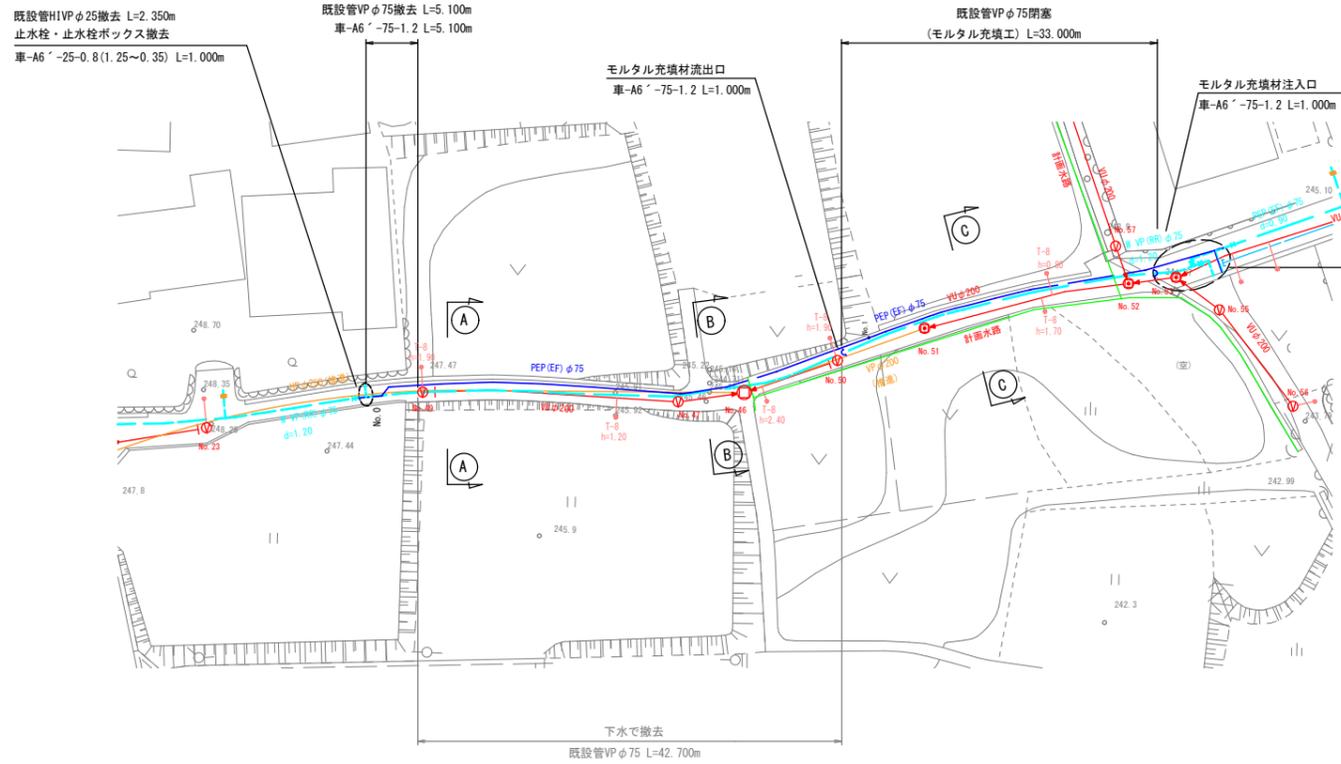
記号	D	H	h1	h2	h3	備考
車-A6-50-0.9	50	900	960	260	560	
車-A6-75-0.8	75	800	890	290	460	
車-A6-75-0.9	75	900	990	290	560	
車-A6-75-0.95	75	950	1040	290	610	
車-A6-75-1.0	75	1000	1090	290	660	
車-A6-75-1.1	75	1100	1190	290	760	
車-A6-75-1.25	75	1250	1340	290	910	
車-A6-75-1.35	75	1350	1440	290	1010	
車-A6-75-1.6	75	1600	1690	290	1260	

令和7年度 管路移設事業 白市地区配水管移設工事			
種別	横断面・床掘標準断面図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市高屋町白市	図 NO. 2	
路線番号		番 計	
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

# 撤去・閉栓工(平面図)

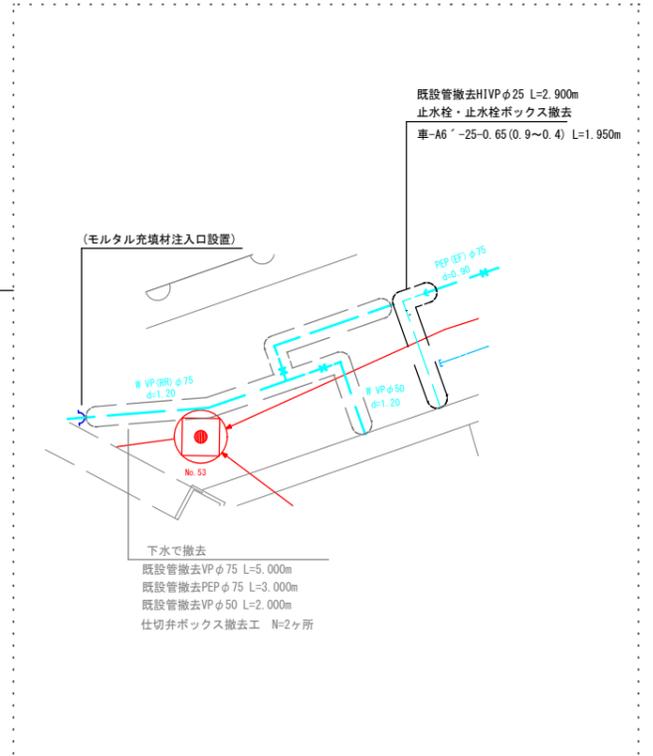
## (白市地区)

S=1:350



### 撤去詳細図

S=1:70



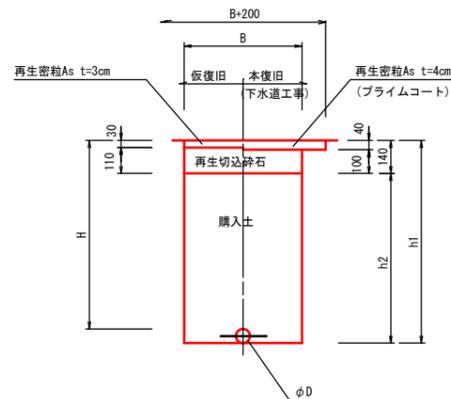
### 床掘標準断面図

S=1:15

#### 車-A6'-D-H

※本復旧は下水道工事で実施予定

舗装構成	表層	再生密粒度アスコン	t=4cm
	路盤	再生切込砕石 (RC-30)	t=10cm
	仮復旧	再生密粒度アスコン	t=3cm



※本工事では仮復旧までとし、本復旧は下水道工事で実施予定

記号	D	H	h1	h2	備考
車-A6'-25-0.65	25	650	680	540	
車-A6'-25-0.8	25	800	830	690	
車-A6'-75-1.2	75	1200	1290	1150	



令和7年度 管路移設事業 白市地区配水管移設工事			
種別	撤去・閉栓工(平面図)	縮尺	図示
工事箇所	東広島市高屋町白市	図	NO. 3
路線番号		冊	計
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

# 参 考 図 書

工事名称 : 令和7年度 管路移設事業  
白市地区配水管移設工事

## <注意事項>

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。  
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束を  
するものではありません。
- 3 本工事は広島県制定『土木工事共通仕様書』の規定のほか、  
広島県水道広域連合企業団東広島事務所制定『設計・施工指針（施工指針編）』  
同 『設計・施工指針（配管標準図集）』  
同 『土工断面工事写真撮影例』  
同 『立会・段階確認項目一覧表』  
に基づいて実施することとしておりますので、これらの入手もお願いいたします。

入手先：広島県水道広域連合企業団ホームページよりダウンロードできます

ホームページ

>事業者の皆様

>関係規程・各種様式 - 東広島事務所

>各種様式等ダウンロード

(東広島事務所工務課でもCDを貸し出ししております。)

#### 4 その他

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離
建設発生土	株式会社大地リサイクルセンター第3処分場	東広島市河内町戸野 5861	10.0km

- ・当該工事により発生するAs殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離
As殻	有限会社トラスト	東広島市西条町上三永 348-14	10.0km

- ・当該工事により発生する建設汚泥は、汚泥の産業廃棄物処分業の中間処理の許可を受けている産業廃棄物中間処理施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離
建設汚泥	有限会社トラスト	東広島市西条町上三永 348-14	10.0km

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 44 東広島市 00-07.11.01(0)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	N 水道(R02.01～)	
	当世代 諸経費工種 01 開削及小口径推進工事等 施工地域補正区分 03 一般交通影響あり 週休補正区分 09 閉所型・月単位 復興補正区分 00 補正なし 現場環境改善費区分 00 率分額計上しない 緊急工事区分 00 通常工事 0% 積雪寒冷地区分 00 補正なし 契約保証区分 01 金銭的保証(0.04%) 前払金支出割合区分 00 補正なし	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路(水道)					Y1K01 レベル1
配水管布設工 PEP(EF) 75	1	式			Y2999 レベル2
管路土工	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	180	m			Y4999 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	180	m			SPK25040307 00 単第0 -0001 表
舗装版破碎 舗装厚 10cm以下	53	m2			Y4999 レベル4
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	53	m2			SQ004 00 単第0 -0002 表
管路掘削 ハックル排出対策型	1	式			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路掘削 クローラ型山積0.13m3(平積0.1m3)	50	m3			SQ005 00 単第0 -0004 表
真砂詰工 B<1.0 ハック杓排出対策型	1	式			Y4999 レベル4
真砂詰工(管上20cm迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型	15	m3			VSW101013 00 単第0 -0005 表
管路埋戻 ハック杓排出対策型 購入土	1	式			Y4999 レベル4
埋戻工(管上20cm～路床天迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型	29	m3			VSW112013 00 単第0 -0009 表
路盤工 仕上厚 11cm,施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	1	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚11cm	53	m2			SQZ10 00 単第0 -0011 表
仮復旧 t=3cm,プライムコートなし 締固め後密度 2.35t/m3	1	式			Y4999 レベル4
アスファルト舗装工(人力) 車道及び路肩 仕上厚3cm 締固め後密度 2.35t/m3	53	m2			SQ000017 00 単第0 -0013 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬処理 バックホウ排出対策型 As(密度2.35t/m3)	2	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(舗装版) バックホウ 排出対策型 As	2	m3			VSW606013 00 単第0 -0016 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
As殻処分費 アスファルト殻(密度2.35t/m3) (有)トラスト	2	m3			F0002 00
残土処理工 バックホウ 排出対策型	1	式			Y4999 レベル4
残土処理工(残土) バックホウ 排出対策型 砂質土	50	m3			VSW605013 00 単第0 -0021 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 砂・砂質土・礫質土 大地リサイクルセンター第3処分場	50	m3			F0001 00
土留工	1	式			Y3999 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支保工					Y4999 レベル4
	1	式			
木製支保工設置工 木矢板 床掘深さ 2.0m未満	4.7	m			SQ020 00 単第0 -0024 表
木製支保工撤去工 木矢板 床掘深さ 2.0m未満	4.7	m			SQ020 00 単第0 -0025 表
土留工					Y4999 レベル4
	1	式			
木矢板設置・撤去工 矢板長 L=2.10m 転用	4.7	m			SQ010 00 単第0 -0026 表
配水管布設工					Y3999 レベル3
	1	式			
水道配水用ホリソリ管 EF受口付直管 片受タイプ 75×5.0M	13	本			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ホリソリ管 EF受口付直管 片受タイプ 75×5.0M	13	本			TQ000125 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水道配水用ホリソリ管 プレソリト 75×5.0M	4	本			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ホリソリ管 プレソリト 75×5.0M	4	本			TQ000115 00
水道配水用ホリソリ管継手 EF45°ソリト 片受ソリ 75	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ホリソリ管継手 EF45°ソリト 片受ソリ 75	1	個			TQ000195 00
水道配水用ホリソリ管継手 EF22 1/2°ソリト 片受ソリ 75	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ホリソリ管継手 EF22 1/2°ソリト 片受ソリ 75	1	個			TQ000205 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水道配水用ホリソリ管継手 EF11 1/4°ベント片受タイプ 75	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ホリソリ管継手 EF11 1/4°ベント片受タイプ 75	1	個			TQ000215 00
水道配水用ホリソリ管継手 EF45°ベント両受タイプ 75	5	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ホリソリ管継手 EF45°ベント両受タイプ 75	5	個			TQ000155 00
水道配水用ホリソリ管継手 EF22 1/2°ベント両受タイプ 75	5	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ホリソリ管継手 EF22 1/2°ベント両受タイプ 75	5	個			TQ000165 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水道配水用ホリソリ管継手 EF11 1/4°ベント両受タイプ 75	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ホリソリ管継手 EF11 1/4°ベント両受タイプ 75	1	個			TQ000175 00
水道配水用ホリソリ管継手 EFチーフ両受タイプ 75×50	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ホリソリ管継手 EFチーフ両受タイプ 75×50	1	個			TQ000233 00
ホリソリ管継手 75 PEP×塩ビ 内ナマあり	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
ホリソリ管継手 75 PEP×塩ビ 内ナマあり	1	個			THSFA002308 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
㊦加工ワット 75 PEP×PEP インナー有り	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
㊦加工ワット 75 PEP×PEP インナー有り	1	個			THSFA002300 00
管明示テープ 巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	4.5	巻			Y4999 レベル4
管明示テープ 幅 50mm 長さ20m 青地白文字 西暦表示	4.5	巻			TQ100001 00
ポリエチレン管据付工 呼び径 75mm	88.9	m			Y4999 レベル4
ポリエチレン管据付工 呼び径 75mm	88.9	m			SQ105 00
ポリエチレン管(融着接合)継手工 75	40	口			単第0 -0027 表 Y4999 レベル4
ポリエチレン管(融着接合)継手工 75	40	口			VPE10075 00 単第0 -0028 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管切断 呼び径 75mm	12	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管切断 呼び径 75mm	12	口			SQ110 00 単第0 -0030 表
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設 呼び径 75mm	3	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設 呼び径 75mm	3	口			SQ000035 00 単第0 -0031 表
鋳鉄継手工(メカニカル形) 50- 100 メカニカル等	1	口			Y4999 レベル4
鋳鉄継手工(メカニカル形) 50- 100 メカニカル等	1	口			VSE10101 00 単第0 -0032 表
空気弁設置工 75-PE両挿-0.8【口金式】(耐震補強金具含 東広島市型	1	箇所			Y4999 レベル4
空気弁設置工 75-PE両挿-0.8(耐震補強金具含む) 東広島市型	1	箇所			VSWH7307511 00 単第0 -0033 表
空気弁BOX設置工【材工共】 口径 75・ 100,土被り 0.80,高さ 0.65 東広島市型	1	箇所			VSB2000751 00 単第0 -0039 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
空気弁設置工(管材費) 75-PE両挿-0.8【口金式】(耐震補強金具含 東広島市型)	1	箇所			VSWH7307512 00 単第0 -0040 表
ホリシリンダ被覆工 75【材工共】	3	m			Y4999 レベル4
ホリシリンダ被覆工 75【材工共】	3	m			VSE400075 00 単第0 -0041 表
ケーシングワイヤ 被覆外径 4.4mm【材工共】	88.9	m			Y4999 レベル4
ケーシングワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm【材工共】	88.9	m			VSE700 00 単第0 -0042 表
管理設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	88.2	m			Y4999 レベル4
管理設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	88.2	m			VSE500 00 単第0 -0043 表
排水管設置工 HIVP(TS) 50	1	式			Y2999 レベル2

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路土工					Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	1	式			Y4999 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	3	m			SPK25040307 00
舗装版破碎 舗装厚 10cm以下	3	m			単第0 -0001 表 Y4999 レベル4
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	1	m2			SQ004 00
管路掘削 ハック杓排出対策型	1	m2			単第0 -0002 表 Y4999 レベル4
管路掘削 クローラ型山積0.13m3(平積0.1m3)	1	m3			SQ005 00
真砂詰工 B<1.0 ハック杓排出対策型	1	式			単第0 -0004 表 Y4999 レベル4
真砂詰工(管上20cm迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型	0.2	m3			VSW101013 00 単第0 -0005 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路埋戻 ハック材排出対策型 購入土	1	式			Y4999 レベル4
埋戻工(管上20cm～路床天迄) B<1.0 ハック材 排出対策型	1	m3			VSW112013 00 単第0 -0009 表
路盤工 仕上厚 11cm,施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	1	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚11cm	1	m2			SQZ10 00 単第0 -0011 表
仮復旧 t=3cm,プライムコートなし 締固め後密度 2.35t/m3	1	式			Y4999 レベル4
アスファルト舗装工(人力) 車道及び路肩 仕上厚3cm 締固め後密度 2.35t/m3	1	m2			SQ000017 00 単第0 -0013 表
殻運搬処理 ハック材排出対策型 As(密度2.35t/m3)	0.1	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(舗装版) ハック材 排出対策型 As	0.1	m3			VSW606013 00 単第0 -0016 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
As殻処分費 アスファルト殻(密度2.35t/m3) (有)トラスト	0.1	m3			F0002 00
残土処理工 バックホ 排出対策型	1	式			Y4999 レベル4
残土処理工(残土) バックホ 排出対策型 砂質土	1	m3			VSW605013 00 単第0 -0021 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 砂・砂質土・礫質土 大地リサイクルセンター第3処分場	1	m3			F0001 00
排水管設置工	1	式			Y3999 レベル3
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP-TS 50×4.0M	1	本			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP-TS 50×4.0M	1	本			TQ001589 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 90°エルブ HITS継手 50	3	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 90°エルブ HITS継手 50	3	個			TQ001697 00
マンホール 50 PEP×塩ビ インナー無し	1	個			Y4999 レベル4 排水管用
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
マンホール 50 PEP×塩ビ インナー無し	1	個			THSFA002337 00 排水管用
管明示テープ 巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	0.1	巻			Y4999 レベル4
管明示テープ 幅 50mm 長さ20m 青地白文字 西暦表示	0.1	巻			TQ100001 00
ポリエチレン管据付工 呼び径 50mm	0.3	m			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管据付工 呼び径 50mm	0.3	m			SQ105 00 単第0 -0045 表
仕切弁設置工 50-PE両挿-0.9 東広島市型	1	箇所			Y4999 レベル4
仕切弁設置工 50-PE両挿-0.9 東広島市型	1	箇所			VSW72005011 00 単第0 -0046 表
仕切弁BOX設置工【材工共】 口径 50, 土被り 0.90, 高さ 0.75 東広島市型	1	箇所			VSB1000501 00 単第0 -0048 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
仕切弁設置工(管材費) 50-PE両挿-0.9 東広島市型	1	箇所			VSW72005012 00 単第0 -0049 表
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径 50mm	1.6	m			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径 50mm	1.6	m			SQ100 00 単第0 -0050 表
硬質塩化ビニル管切断 呼び径 50mm	3	口			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管切断 呼び径 50mm	3	口			SQ110 00 単第0 -0051 表
硬質塩化ビニル管継手工 呼び径 50mm T S継手	5	口			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管継手工 呼び径 50mm T S継手	5	口			SQ101 00 単第0 -0052 表
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設 呼び径 50mm	1	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設 呼び径 50mm	1	口			SQ000035 00 単第0 -0053 表
鋳鉄継手工(メカニカル形) 50- 100 メカ加工等	1	口			Y4999 レベル4
鋳鉄継手工(メカニカル形) 50- 100 メカ加工等	1	口			VSE10101 00 単第0 -0032 表
コンクリート等取り壊し復旧工	1	箇所			Y4999 レベル4
コンクリート等取り壊し復旧工 コンクリート 300*300*250	1	箇所			VSW300 00 単第0 -0054 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ホリシリンテープ 被覆工 50【材工共】	2	m			Y4999 レベル4
ホリシリンテープ 被覆工 50【材工共】	2	m			VSE400050 00 単第0 -0057 表
ケーティングワイヤ 被覆外径 4.4mm【材工共】	2.6	m			Y4999 レベル4
ケーティングワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm【材工共】	2.6	m			VSE700 00 単第0 -0042 表
管理設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	1.5	m			Y4999 レベル4
管理設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	1.5	m			VSE500 00 単第0 -0043 表
撤去・閉栓工	1	式			Y2999 レベル2
管路土工	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	20	m			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	20	m			SPK25040307 00 単第0 -0001 表
舗装版破碎 舗装厚 10cm以下	6	m2			Y4999 レベル4
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	6	m2			SQ004 00 単第0 -0002 表
管路掘削 ハック杓排出対策型	1	式			Y4999 レベル4
管路掘削 クローラ型山積0.13m3(平積0.1m3)	7	m3			SQ005 00 単第0 -0004 表
管路埋戻 ハック杓排出対策型 購入土	1	式			Y4999 レベル4
埋戻工(管上20cm～路床天迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型	6	m3			VSW112013 00 単第0 -0009 表
路盤工 仕上厚 11cm,施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	6	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚11cm	6	m2			SQZ10 00 単第0 -0011 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮復旧 t=3cm,プライムコートなし 締固め後密度 2.35t/m3	1	式			Y4999 レベル4
アスファルト舗装工(人力) 車道及び路肩 仕上厚3cm 締固め後密度 2.35t/m3	6	m2			SQ000017 00 単第0 -0013 表
殻運搬処理 バックホウ排出対策型 As(密度2.35t/m3)	0.2	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(舗装版) バックホウ 排出対策型 As	0.2	m3			VSW606013 00 単第0 -0016 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
As殻処分費 アスファルト殻(密度2.35t/m3) (有)トラスト	0.2	m3			F0002 00
残土処理工 バックホウ 排出対策型	1	式			Y4999 レベル4
残土処理工(残土) バックホウ 排出対策型 砂質土	7	m3			VSW605013 00 単第0 -0021 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土処分費 砂・砂質土・礫質土 大地リサイクルセンター第3処分場	7	m3			F0001 00
撤去・閉栓工	1	式			Y3999 レベル3
メカニカルキャップ 75 塩ビ・鋼管	2	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
メカニカルキャップ 75 塩ビ・鋼管	2	個			THSFA002243 00
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 バルブ用ソケット HITS継手 50	2	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 バルブ用ソケット HITS継手 50	2	個			TQ001793 00
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP-TS 50×4.0M	1	本			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP-TS 50×4.0M	1	本			TQ001589 00
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 90°エルブ HITS継手 50	2	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 90°エルブ HITS継手 50	2	個			TQ001697 00
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 キャップ HITS継手 50	2	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 キャップ HITS継手 50	2	個			TQ001825 00
撤去硬質塩化ビニル管吊上げ積込み 呼び径 2.5mm	5.3	m			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
撤去硬質塩化ビニル管吊上げ積込み 呼び径 25mm	5.3	m			SQ000011 00 単第0 -0058 表
撤去硬質塩化ビニル管吊上げ積込み 呼び径 75mm	5.1	m			Y4999 レベル4
撤去硬質塩化ビニル管吊上げ積込み 呼び径 75mm	5.1	m			SQ000011 00 単第0 -0060 表
撤去硬質塩化ビニル管切断 呼び径 75mm	2	口			Y4999 レベル4
撤去硬質塩化ビニル管切断 呼び径 75mm	2	口			SQ000005 00 単第0 -0062 表
撤去ポリエチレン管切断 呼び径 75mm	1	口			Y4999 レベル4
撤去ポリエチレン管切断 呼び径 75mm	1	口			SQ000005 00 単第0 -0064 表
止水栓・ボックス撤去工	2	箇所			Y4999 レベル4
止水栓・ボックス撤去工	2	箇所			V000000100 00 単第0 -0065 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
廃プラスチック処理工					Y4999 レベル4
	0.1	m3			
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付トラック 2 t積・2 t吊 片道運搬距離 10km					SQ601 00
	1	回			単第0 -0067 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
廃プラスチック処分費 (有)トラスト					F0005 00
	0.1	m3			
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径 50 mm					Y4999 レベル4
	3.4	m			
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径 50 mm					SQ100 00
	3.4	m			単第0 -0050 表
硬質塩化ビニル管切断 呼び径 50 mm					Y4999 レベル4
	4	口			
硬質塩化ビニル管切断 呼び径 50 mm					SQ110 00
	4	口			単第0 -0051 表
硬質塩化ビニル管継手工 呼び径 50 mm T S継手					Y4999 レベル4
	8	口			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管継手工 呼び径 50mm TS継手	8	口			SQ101 00 単第0 -0052 表
小口径管ねじ込み接合 呼び径 50mm	2	口			Y4999 レベル4
小口径管ねじ込み接合 呼び径 50mm	2	口			SQ000033 00 単第0 -0069 表
鋳鉄継手工(メカニカル形) 50- 100 メカニカル等	2	口			Y4999 レベル4
鋳鉄継手工(メカニカル形) 50- 100 メカニカル等	2	口			VSE10101 00 単第0 -0032 表
ポリレンスリーブ被覆工 75【材工共】	2	m			Y4999 レベル4
ポリレンスリーブ被覆工 75【材工共】	2	m			VSE400075 00 単第0 -0041 表
モルタル充填工	0.2	m3			Y4999 レベル4
モルタル充填工	0.2	m3			V3200 00 単第0 -0070 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
充填設備据付撤去工					SQ000063 00
	1	箇所			単第0 -0073 表
舗装版切断排水					Y2999 レベル2
	1	式			
舗装版切断排水					Y3999 レベル3
	1	式			
汚泥吸排車					Y4999 レベル4
	1	式			
汚泥吸排車運転 積載質量3.1～3.5t 吸入管径75mm					V9999 00
	0.1	日			単第0 -0075 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
汚泥処分費 舗装版切断排水（無機性汚泥） （有）トラスト					F0004 00
	0.2	m3			
交通管理工					Y2999 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y3999 レベル3
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B	20	人			Y4999 レベル4
交通誘導警備員B	20	人			R0369 00
直接工事費					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
通水試験	1	式			YZZ06001001 レベル4
通水試験 管径：800mm以下 既設管で注水する	0.07	日			SQ400 00  単第0 -0076 表
共通仮設費率分額 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計... 処分費.....

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計... 処分費.....
工事原価					
一般管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正..... 対象額合計... 処分費.....
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額...
一般管理費計					
** 工事価格計 **					
** 消費税相当額計 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					



# 施工単価表

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0001 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009











# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0006 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離22.5km以下(15.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比:

40.44% 材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,742.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=45 距離22.5km以下(15.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

# 施工単価表

管路埋戻  
BH投入・タンバ締固め

SQ006  
クローラ型山積0.13m3(平積0.1m3)

単第0 -0007 表

100 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	6.8	人			
機-23,24_小型バックホウ運転 クローラ[標準型]山積0.13m3(平積0.10m3) 排出ガス対策型2次基準	1.538	日			単第0-0003 表 100/65
タンバ運転 (賃料) 質量 60 ~ 80 kg	3	日			単第0-0008 表
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 BH投入・タンバ締固め C=2 クローラ型山積0.13m3(平積0.1m3)			B=1 D=3	材料別途計上 排出ガス対策型2次基準	





# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0010 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離15.5km以下(11.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比:

40.44% 材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,217.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=39 距離15.5km以下(11.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		





# 施工単価表

アスファルト舗装工(人力)

SQ000017

単第0 -0013 表

車道及び路肩 仕上厚3cm

締め後密度 2.35 t/m<sup>3</sup>

100

m<sup>2</sup> 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.400	人			
特殊作業員	0.800	人			
普通作業員	1.600	人			
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	7.544	t			
機-23_振動ローラ運転 (舗装用)ハンドガイド式_0.5~0.6t 普通型	0.400	日			単第0-0014 表
振動コンパクト運転 質量40~60kg	0.800	日			単第0-0015 表
諸雑費	6	%			#09
*** 合計 ***	100	m <sup>2</sup>			
*** 単位当たり ***	1	m <sup>2</sup>			
A=3 仕上厚 (cm) C=1 車道及び路肩 E=1 砂散布なし G=1 普通型			B=8 再生密粒度As混合物 (13) D=3 瀝青材料散布なし F=2 小型車割増あり		











# 施工単価表

ダンプトラック運転  
オンロード・ディーゼル・2 t 積級

S9050

単第0 -0018 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	21.00	L			
運転手(一般)	1.00	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 2t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 C=21 E=1 G=0	オンロード・ディーゼル・2 t 積級 軽油消費量 (L / 日) 路面状況：良好 労務単価の夜間等割増率		B=1 D=1.29 F=1	運転労務数量 (人 / 日) 機械損料数量 (供用日 / 日)	



# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0020 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離9.5km以下(7.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比:

40.44% 材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,575.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=28 距離9.5km以下(7.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		







# 施工単価表

木製支保工設置工  
木矢板

SQ020  
床掘深さ 2.0m未満

単第0 -0024 表

100 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
腹起し材損料 (太鼓落) L = 3m	6.5	m3			
切梁材損料 (丸太) L = 3m	0.50	m3			
型わく工	3.05	人			
普通作業員	4.46	人			
諸雑費	3	%			#09
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=6.5 腹起し材使用量 C=1 設置 E=1 転用			B=0.5 切梁材使用量 D=1 木矢板 2.0m未満		



# 施工単価表

木矢板設置・撤去工  
矢板長 L=2.10m

SQ010

単第0 -0026 表

転用

100

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
矢板損料 L=3.6m , t=4.5cm	18.9	m3			
土木一般世話役	1.00	人			
型わく工	2.08	人			
普通作業員	25.00	人			設置
普通作業員	18.20	人			撤去
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 設置・撤去 C=1 転用 E=113000000 矢板損料【登録単価CODE】(m3)			B=3 矢板長 L=2.10m D=2 矢板損料(各種)		



























# 施工単価表

空気弁設置工（管材費）

VSWH7307512

単第0 -0040 表

75-PE両挿-0.8【口金式】（耐震補強金具含 東広島市型

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
フランジ付T字管（鋳鉄製、PEP両挿） 75×75 PEP GF形、ガスケット含む	1	個			消火栓用
DCIPフランジ短管 75×100mm 7.5K GF 内面エポキシ粉体塗装	1	本			
水道用補修弁（ホ-ル式）7.5K GF形 75 H=150（キーキャップ）	1	基			
口金式急速空気弁（フランジ一体型） 25	1	基			
フランジ用ゴ-ムパッキン（GF形1号） 75 SBR	2	枚			
フランジ耐震補強金具 75 離脱防止性能3DKN	1	組			ホ-ルナット含む
補修弁用フランジ耐震補強金具 75（1次側） 離脱防止性能3DKN	1	組			ホ-ルナット含む
補修弁用フランジ耐震補強金具 75（2次側） 離脱防止性能3DKN	1	組			ホ-ルナット含む
*** 単位当たり ***	1	箇所			















# 施工単価表

仕切弁BOX設置工【材工共】

VSB1000501

単第0 -0048 表

口径 50,土被り 0.90,高さ 0.75

東広島市型

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁用 鉄蓋 250 円形 1号 東広島市形	1	組			
レジコンクリート製マンホール 250 調整リング H=50	1	個			
レジコンクリート製マンホール 250 上部壁 H=150	1	個			
レジコンクリート製マンホール 250 中間壁 H=100	1	個			
レジコンクリート製マンホール 350- 250 下部壁 H=300	1	個			
レジコンクリート製マンホール 550 底板 H=40	1	個			
普通作業員	0.11	人			
*** 単位当たり ***	1	箇所			















# 施工単価表

モルタル練

SPK25040158

単第0 -0056 表

普通

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 82.04%

材料構成比: 17.96%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

102,720.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	54.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	12.48%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.48%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2 普通			B=1 -(全ての費用)		





























# 施工単価表

充填工

V3201

単第0 -0071 表

頁0 -0102

1

m3

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	2	人			
グラウトポンプ 二筒複動ピストン式 吐出量200L/min	1	日			
グラウトミキサ 並列2槽式 攪拌容量300L×2槽	1	日			
機-16_発動発電機運転 ディーゼル45kVA 排出ガス対策型1次基準	1	日			単第0-0072 表
諸雑費	15	%			#09
1m3当り(計/発泡系充填材標準打設量)					
*** 単位当たり ***	1	m3			











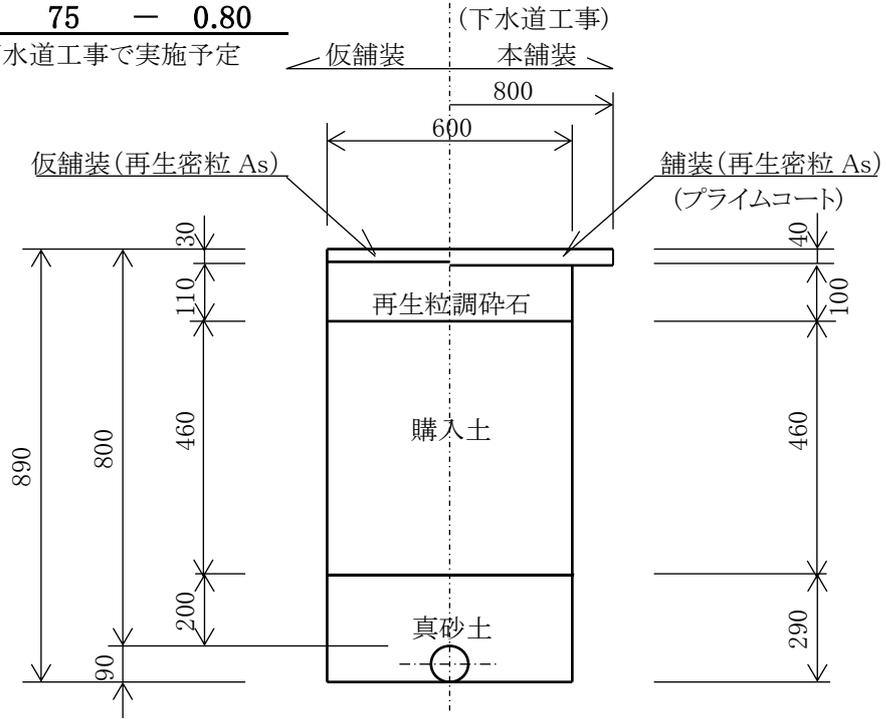
1. 配水管 PEP(EF)  $\phi$  75





車 - A6 - 75 - 0.80

※本復旧は下水道工事で実施予定

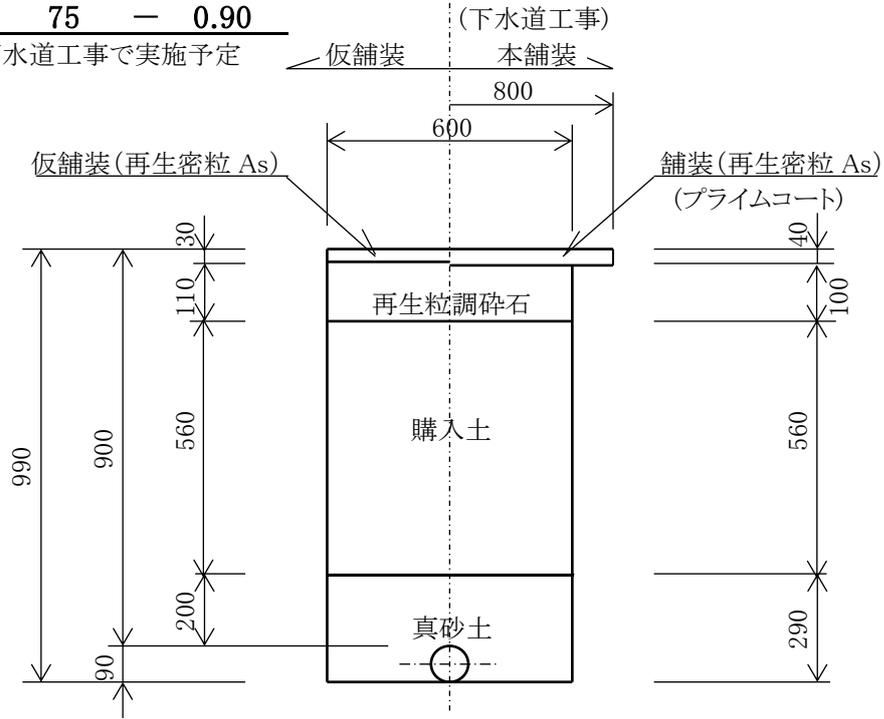


(1m当り)

名称	規格	算式	数量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破碎	As t=10cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	0.60 × ( 0.89 - 0.04 )	0.51 m <sup>3</sup>
埋戻し	真砂土	0.60 × 0.29 - 1/4 × π × 0.09 <sup>2</sup>	0.17 m <sup>3</sup>
〃	購入土	0.60 × 0.46	0.28 m <sup>3</sup>
路盤	再生粒調碎石 t= 11cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
仮復旧	再生密粒度As t=3cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	0.60 × 0.04	0.02 m <sup>3</sup>
〃	土砂		0.51 m <sup>3</sup>

車 - A6 - 75 - 0.90

※本復旧は下水道工事で実施予定

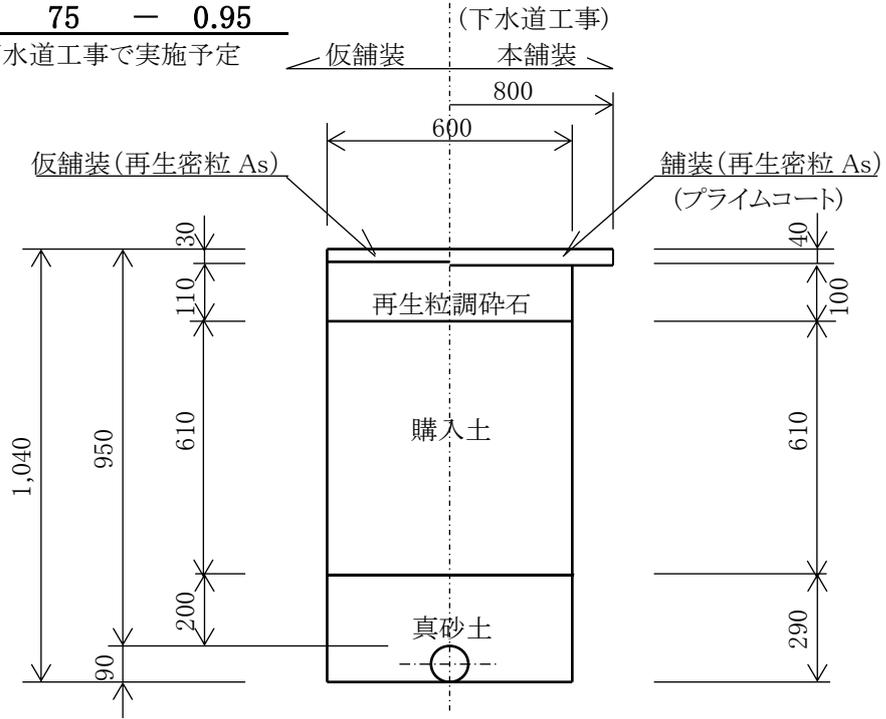


(1m当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破碎	As t=10cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	0.60 × ( 0.99 - 0.04 )	0.57 m <sup>3</sup>
埋 戻 し	真砂土	0.60 × 0.29 - 1/4 × π × 0.09 <sup>2</sup>	0.17 m <sup>3</sup>
〃	購入土	0.60 × 0.56	0.34 m <sup>3</sup>
路 盤	再生粒調碎石 t= 11cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
仮 復 旧	再生密粒度As t=3cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	0.60 × 0.04	0.02 m <sup>3</sup>
〃	土 砂		0.57 m <sup>3</sup>

車 - A6 - 75 - 0.95

※本復旧は下水道工事で実施予定

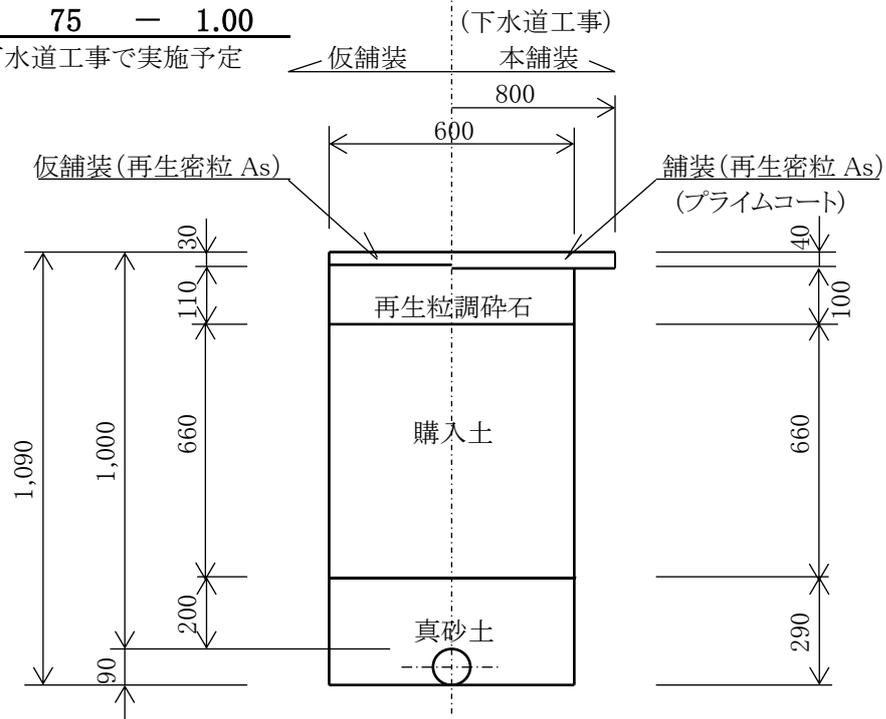


(1m当り)

名称	規格	算式	数量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破碎	As t=10cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	0.60 × ( 1.04 - 0.04 )	0.60 m <sup>3</sup>
埋戻し	真砂土	0.60 × 0.29 - 1/4 × π × 0.09 <sup>2</sup>	0.17 m <sup>3</sup>
〃	購入土	0.60 × 0.61	0.37 m <sup>3</sup>
路盤	再生粒調碎石 t= 11cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
仮復旧	再生密粒度As t=3cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	0.60 × 0.04	0.02 m <sup>3</sup>
〃	土砂		0.60 m <sup>3</sup>

車 - A6 - 75 - 1.00

※本復旧は下水道工事で実施予定

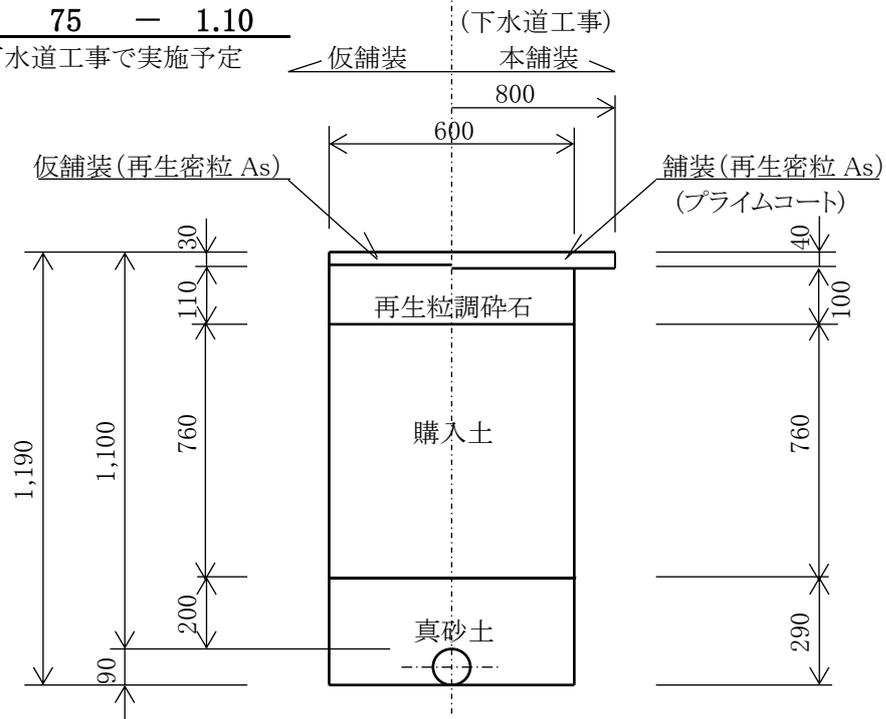


(1m当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破碎	As t=10cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	0.60 × ( 1.09 - 0.04 )	0.63 m <sup>3</sup>
埋 戻 し	真砂土	0.60 × 0.29 - 1/4 × π × 0.09 <sup>2</sup>	0.17 m <sup>3</sup>
〃	購入土	0.60 × 0.66	0.40 m <sup>3</sup>
路 盤	再生粒調碎石 t= 11cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
仮 復 旧	再生密粒度As t=3cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	0.60 × 0.04	0.02 m <sup>3</sup>
〃	土 砂		0.63 m <sup>3</sup>

車 - A6 - 75 - 1.10

※本復旧は下水道工事で実施予定

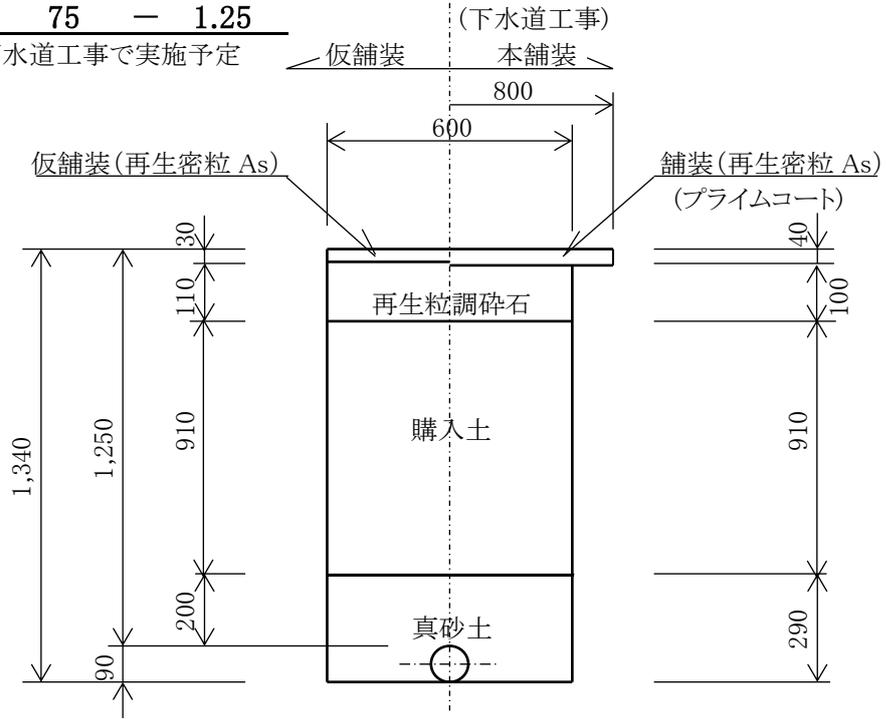


(1m当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破碎	As t=10cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	0.60 × ( 1.19 - 0.04 )	0.69 m <sup>3</sup>
埋 戻 し	真砂土	0.60 × 0.29 - 1/4 × π × 0.09 <sup>2</sup>	0.17 m <sup>3</sup>
〃	購入土	0.60 × 0.76	0.46 m <sup>3</sup>
路 盤	再生粒調碎石 t= 11cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
仮 復 旧	再生密粒度As t=3cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	0.60 × 0.04	0.02 m <sup>3</sup>
〃	土 砂		0.69 m <sup>3</sup>

車 - A6 - 75 - 1.25

※本復旧は下水道工事で実施予定

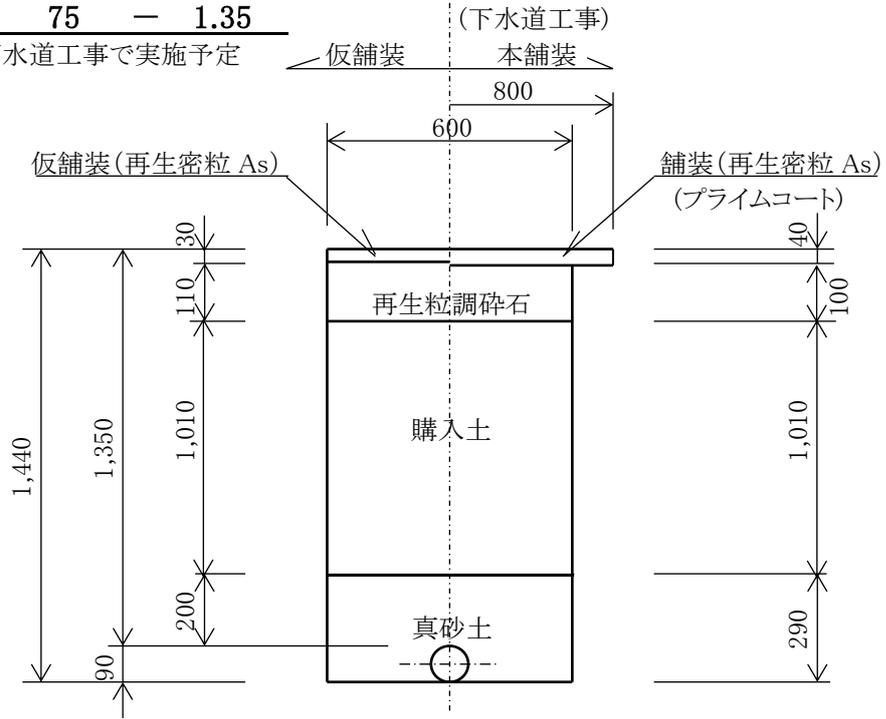


(1m当り)

名称	規格	算式	数量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破碎	As t=10cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	0.60 × ( 1.34 - 0.04 )	0.78 m <sup>3</sup>
埋戻し	真砂土	0.60 × 0.29 - 1/4 × π × 0.09 <sup>2</sup>	0.17 m <sup>3</sup>
〃	購入土	0.60 × 0.91	0.55 m <sup>3</sup>
路盤	再生粒調碎石 t= 11cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
仮復旧	再生密粒度As t=3cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	0.60 × 0.04	0.02 m <sup>3</sup>
〃	土砂		0.78 m <sup>3</sup>

車 - A6 - 75 - 1.35

※本復旧は下水道工事で実施予定

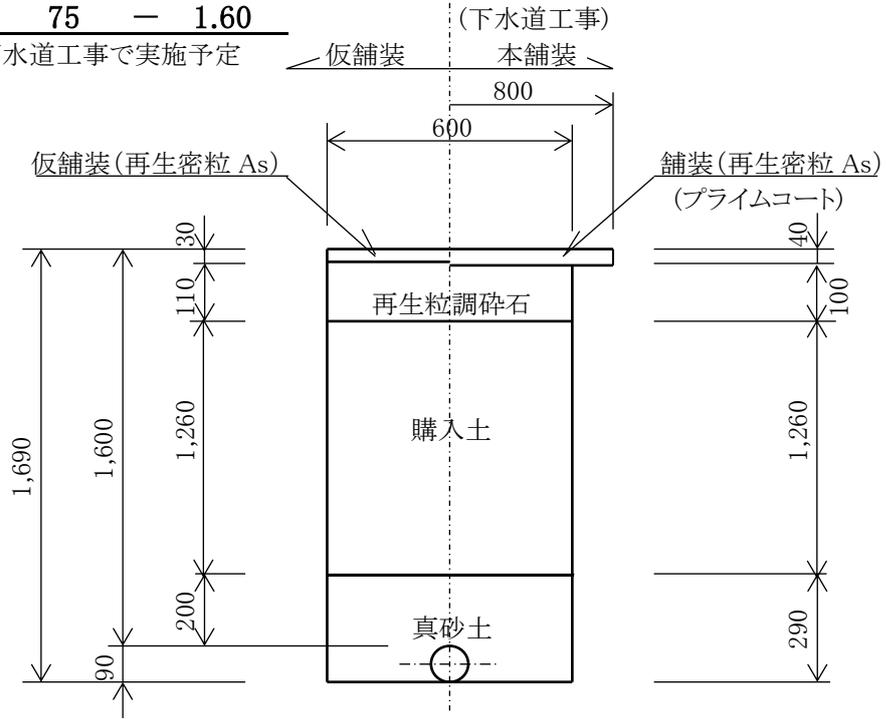


(1m当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破碎	As t=10cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	0.60 × ( 1.44 - 0.04 )	0.84 m <sup>3</sup>
埋 戻 し	真砂土	0.60 × 0.29 - 1/4 × π × 0.09 <sup>2</sup>	0.17 m <sup>3</sup>
〃	購入土	0.60 × 1.01	0.61 m <sup>3</sup>
路 盤	再生粒調碎石 t= 11cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
仮 復 旧	再生密粒度As t=3cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	0.60 × 0.04	0.02 m <sup>3</sup>
〃	土 砂		0.84 m <sup>3</sup>

車 - A6 - 75 - 1.60

※本復旧は下水道工事で実施予定



(1m当り)

名称	規格	算式	数量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破碎	As t=10cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	0.60 × ( 1.69 - 0.04 )	0.99 m <sup>3</sup>
埋戻し	真砂土	0.60 × 0.29 - 1/4 × π × 0.09 <sup>2</sup>	0.17 m <sup>3</sup>
〃	購入土	0.60 × 1.26	0.76 m <sup>3</sup>
路盤	再生粒調碎石 t= 11cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
仮復旧	再生密粒度As t=3cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	0.60 × 0.04	0.02 m <sup>3</sup>
〃	土砂		0.99 m <sup>3</sup>

配水管 φ75 PEP(EF) 材料集計表

名 称	形 状	1個当り 材料延長	配水管移設平面図								単 位	計		備 考
			数 量	布 設 長	数 量	布 設 長	数 量	布 設 長	数 量	布 設 長				
片受直管	PEP(EF) φ75×5.050	5.050	13	65.650							本	13	65.650	
(乙 切 管)	PEP(EF) φ75×5.050	切管調書参照	4	17.690							本	4	17.690	
片受バンド	PEP(EF) φ75×45°	0.480	1	0.480							個	1	0.480	
片受バンド	PEP(EF) φ75×22 1/2°	0.380	1	0.380							個	1	0.380	
片受バンド	PEP(EF) φ75×11 1/4°	0.360	1	0.360							個	1	0.360	
両受バンド	PEP(EF) φ75×45°	0.380	5	1.900							個	5	1.900	
両受バンド	PEP(EF) φ75×22 1/2°	0.280	5	1.400							個	5	1.400	
両受バンド	PEP(EF) φ75×11 1/4°	0.260	1	0.260							個	1	0.260	
両受チーズ	PEP(EF) φ75×φ50	0.100	1	0.100							個	1	0.100	
メカニカルソケット	PEP×VP φ75 コアあり	—	1	—							個	1	—	
メカニカルソケット	PEP×PEP φ75 コアあり	—	1	—							個	1	—	
空気弁設置工	口金式 耐震補強 75-PE両挿-0.8	0.710	(1)	0.710							ヶ所	(1)	0.710	
		延長計		88.930									88.930	
管明示テープ	管延長			88.930							m	88.9		88.930/20m=4.45巻
ロケーティングロイヤー	管延長			88.930							m	88.9		
管埋設シート	水平長			88.235							m	88.2		88.235/50m=1.76巻



# PEP φ 75 切管調書

略 図						乙 切 管															計	残管	切断工	
						路線	番号	長さ	路線	番号	長さ	路線	番号	長さ	路線	番号	長さ	路線	番号	長さ				路線
4.295	0.740							4.295			0.740											5.035	0.015	2
3.465	0.800	0.765						3.465			0.800			0.765								5.030	0.020	3
3.150	0.610	0.505	0.505					3.150			0.610			0.505		0.505						4.770	0.280	4
2.250	0.325	0.28						2.250			0.325			0.28								2.855	2.195	3
合計						直管 PEP φ 75																		
						L = 5,050																		
						4 本															17.690	2.510	12	

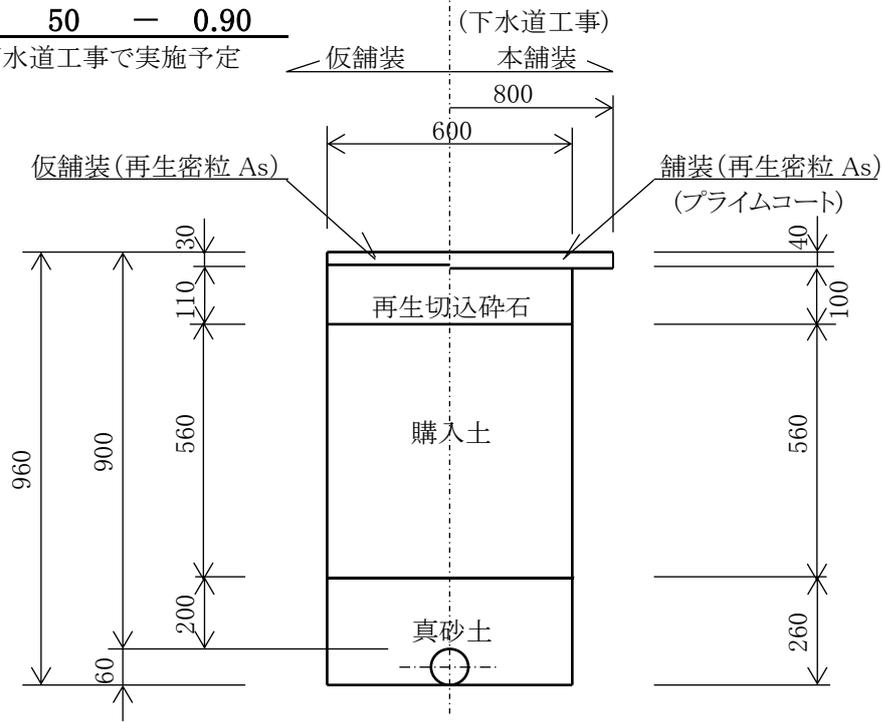
2. 排水管 HIVP(TS)  $\phi$  50





車 - A6 - 50 - 0.90

※本復旧は下水道工事で実施予定



(1m当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破碎	As t=10cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	0.60 × ( 0.96 - 0.04 )	0.55 m <sup>3</sup>
埋 戻 し	真砂土	0.60 × 0.26 - 1/4 × π × 0.06 <sup>2</sup>	0.15 m <sup>3</sup>
〃	購入土	0.60 × 0.56	0.34 m <sup>3</sup>
路 盤	再生切込碎石 t= 11cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
仮 復 旧	再生密粒度As t=3cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	0.60 × 0.04	0.02 m <sup>3</sup>
〃	土 砂		0.55 m <sup>3</sup>





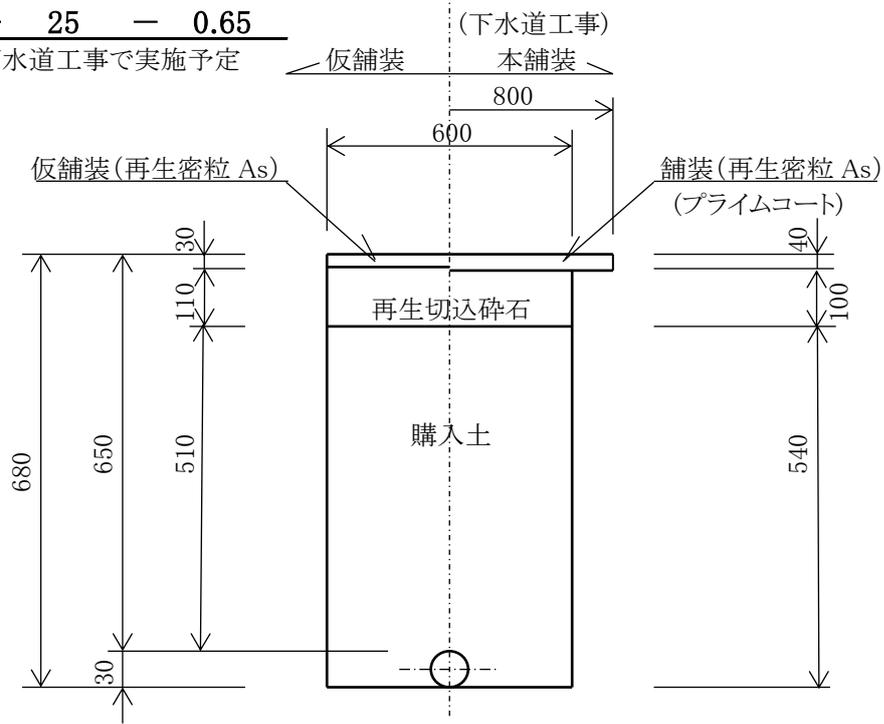
### 3. 撤去・閉栓工





車 - A6 - 25 - 0.65

※本復旧は下水道工事で実施予定

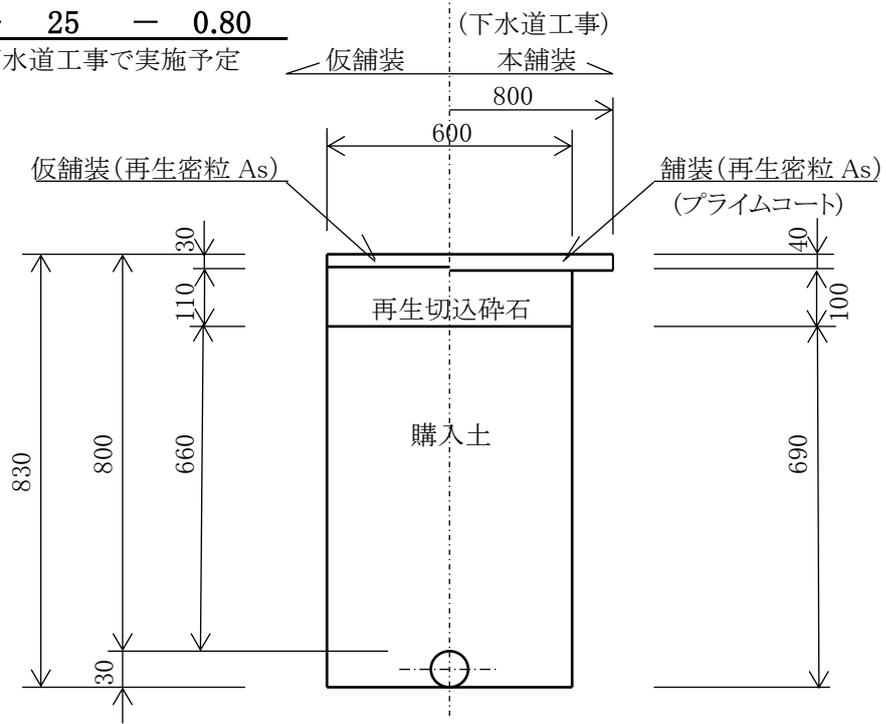


(1m当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破碎	As t=10cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	0.60 × ( 0.68 - 0.04 )	0.38 m <sup>3</sup>
埋 戻 し	購入土	0.60 × 0.54	0.32 m <sup>3</sup>
路 盤	再生切込碎石 t= 11cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
仮 復 旧	再生密粒度As t=3cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	0.60 × 0.04	0.02 m <sup>3</sup>
〃	土 砂		0.38 m <sup>3</sup>

車 - A6 - 25 - 0.80

※本復旧は下水道工事で実施予定

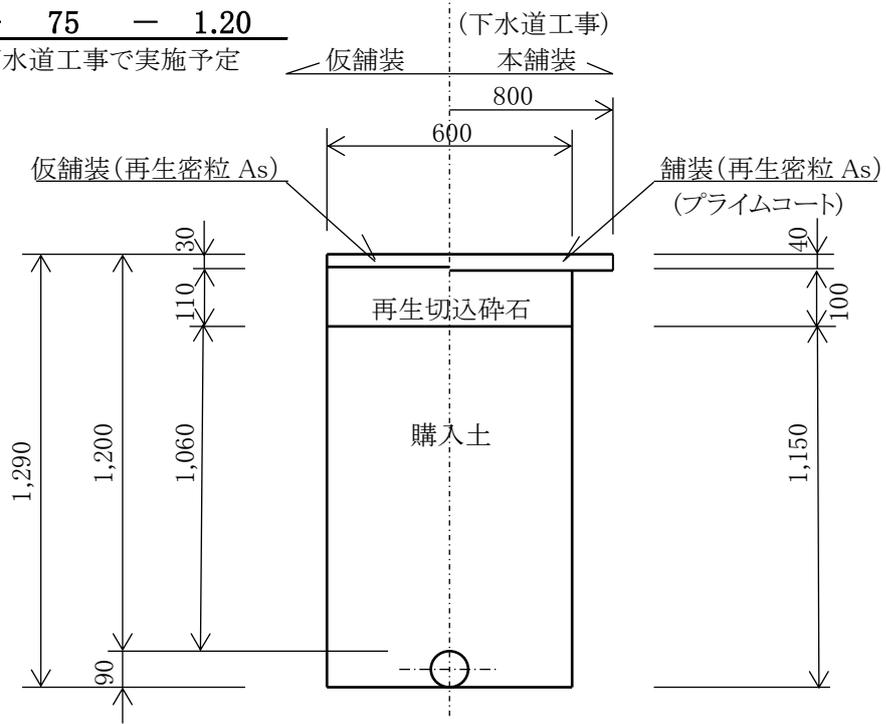


(1m当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破碎	As t=10cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	0.60 × ( 0.83 - 0.04 )	0.47 m <sup>3</sup>
埋 戻 し	購入土	0.60 × 0.69	0.41 m <sup>3</sup>
路 盤	再生切込碎石 t= 11cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
仮 復 旧	再生密粒度As t=3cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	0.60 × 0.04	0.02 m <sup>3</sup>
〃	土 砂		0.47 m <sup>3</sup>

車 - A6 - 75 - 1.20

※本復旧は下水道工事で実施予定



(1m当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破碎	As t=10cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	0.60 × ( 1.29 - 0.04 )	0.75 m <sup>3</sup>
埋 戻 し	購入土	0.60 × 1.15	0.69 m <sup>3</sup>
路 盤	再生切込碎石 t= 11cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
仮 復 旧	再生密粒度As t=3cm	1.00 × 0.60	0.60 m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	0.60 × 0.04	0.02 m <sup>3</sup>
〃	土 砂		0.75 m <sup>3</sup>

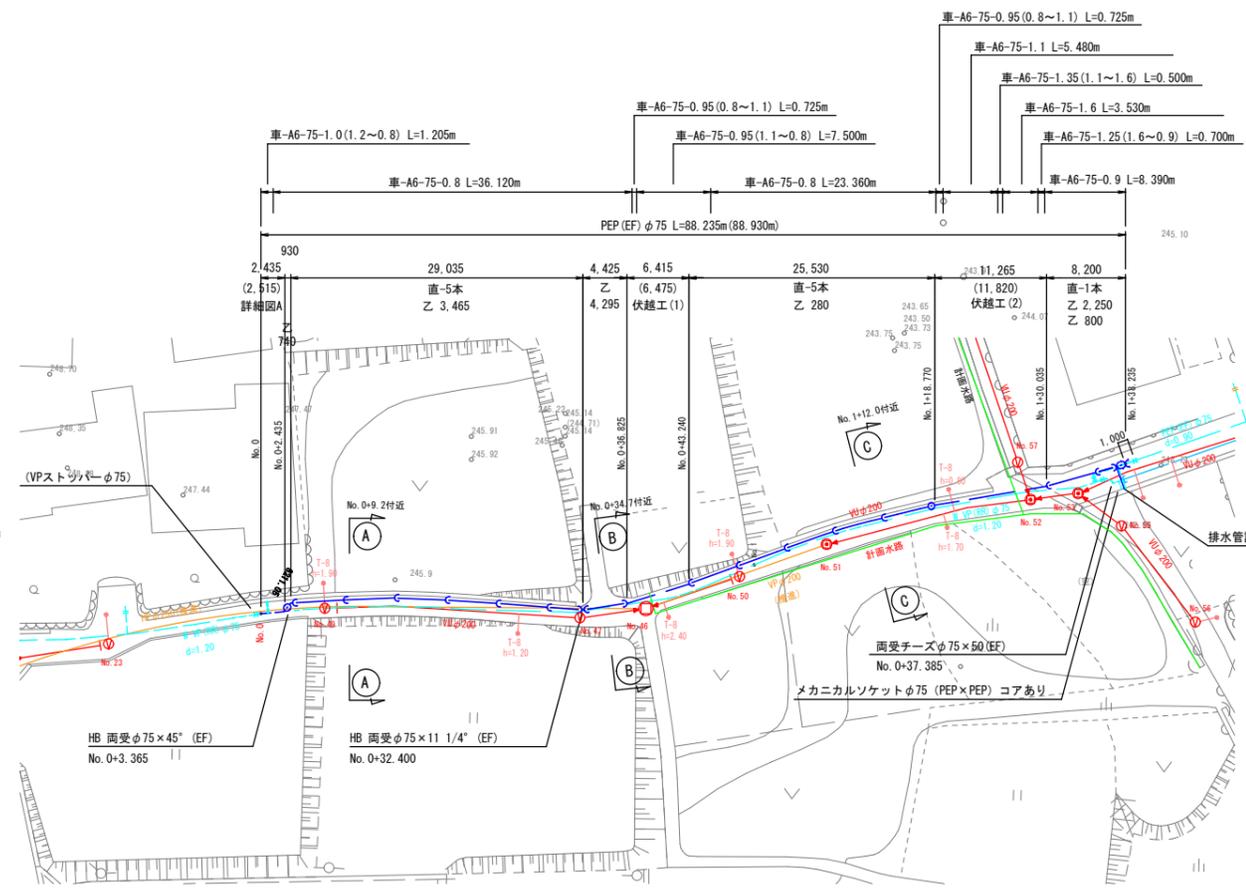
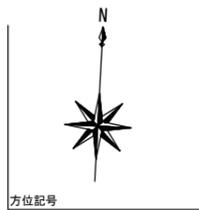


撤去・閉栓工		布設工										
名 称	形 状	単 位	数 量	算 出 式			備 考					
(管撤去工)												
塩ビ管撤去工	φ 25	m	5.3	仮排水管 2.350	+	仮排水管 2.900	= 5.250					
塩ビ管撤去工	φ 75	m	5.1	既本管 5.100			= 5.100					
塩ビ管切断工	φ 75	口	2	SP 1	+	撤去管5.1m 1	= 2.000					
ポリエチレン管切断工	φ 75	口	1	EP 1								
止水栓・ボックス撤去工	φ 25	ヶ所	2	仮排水管 2								
廃プラ		m3	0.1	$0.03^2 \times 3.14 / 4 \times 5.25 + 0.09^2 \times 3.14 / 4 \times 5.1$			= 0.036					
(モルタル充填)												
塩ビ管据付工	φ 50	m	3.4	3.400								
塩ビ管切断工	φ 50	口	4	切管 4								
塩ビ管TS継手工	φ 50	口	8	HIエルボ 2	×	2	+	HIキャップ 2	+	HIバルソケ 2	= 8	
ねじ込み接合工	φ 50	口	2	バルソケ 2								
鋳鉄継手工 (メカニカル型)	φ 75	口	2	メカキャップ 2								
ポリエチレンスリーブ被覆工	φ 75	m	2.0	メカキャップ 2	×	1.0m	= 2.000					
モルタル充填工		m m3	33.0 0.2	$0.075^2 \times 3.14 / 4 \times 33.0$			= 0.15					

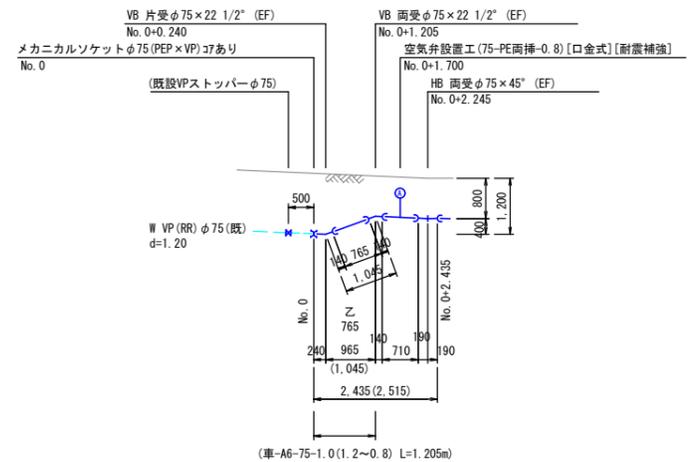
# 配水管移設平面図

S=1:350

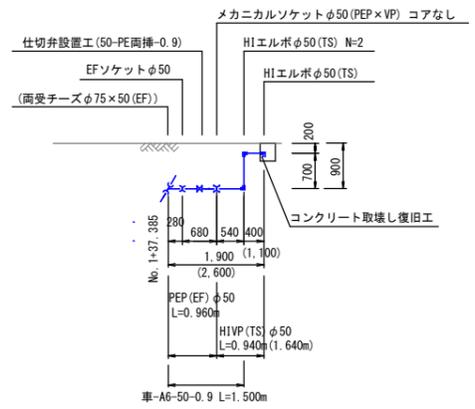
(白市地区)



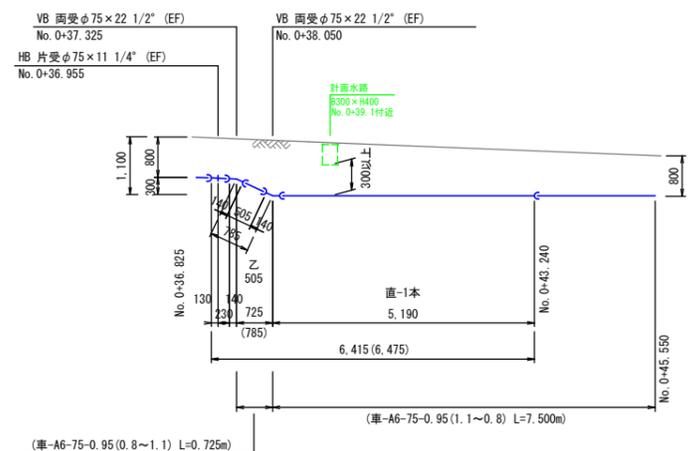
詳細図A S=1:70



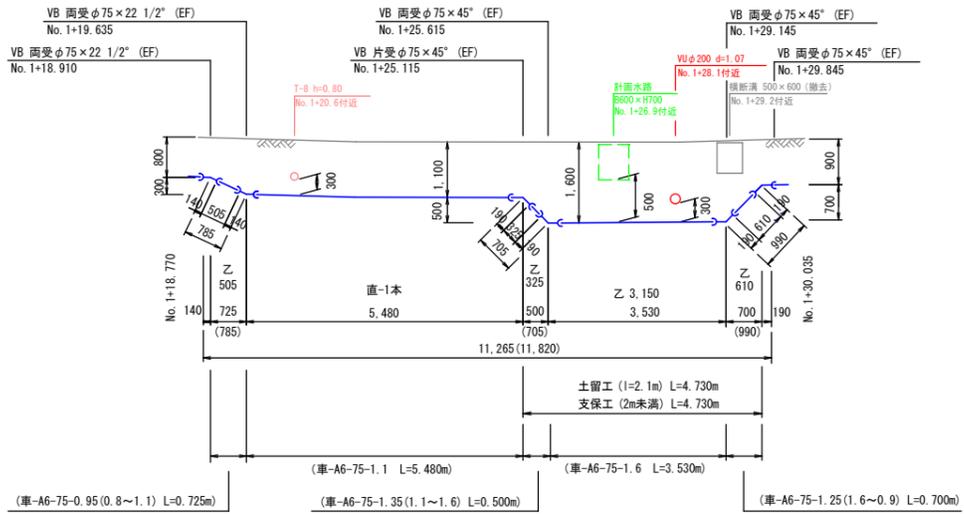
排水管詳細図 S=1:70



伏越工(1) S=1:70



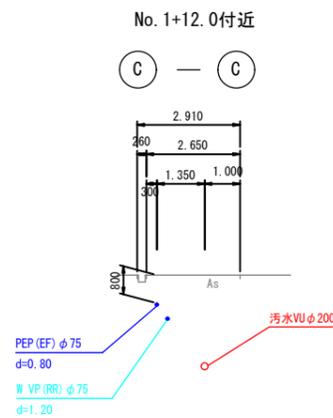
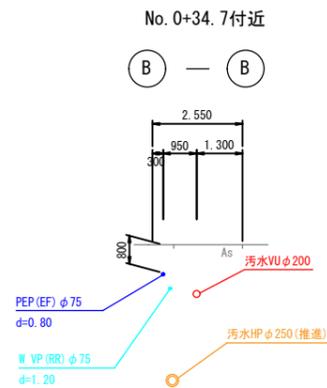
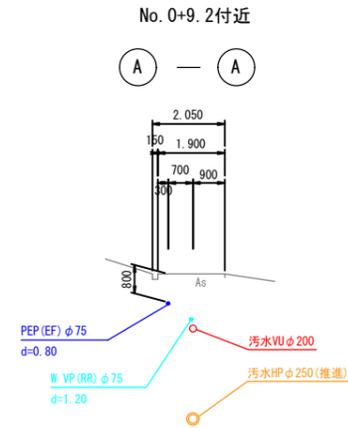
伏越工(2) S=1:70



【参考図】 設計水圧 PEP 0.69MPa フランジ 7.5K仕様

令和7年度 管路移設事業 白市地区配水管移設工事			
種別	配水管移設平面図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市高屋町白市	図 NO. 1	
路線番号		冊 計	
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

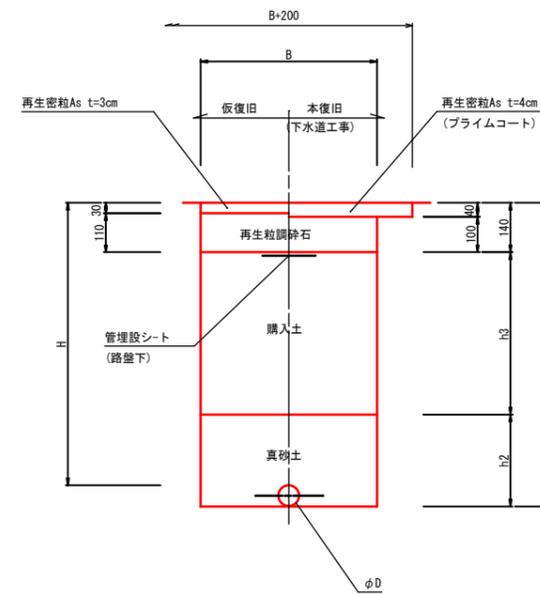
横断面  
(白市地区)  
S=1:100



床掘標準断面図  
(白市地区)  
S=1:10

車-A6-D-H  
※本復旧は下水道工事で実施予定

舗装構成 表層 再生密粒度アスコン t=4cm  
路盤 再生粒調砕石 (RM-30) t=10cm  
仮復旧 再生密粒度アスコン t=3cm



※本工事では仮復旧までとし、本復旧は下水道工事で実施予定

記号	D	B	H	h1	h2	h3	備考
車-A6-50-0.9	50	600	900	960	260	560	
車-A6-75-0.8	75	600	800	890	290	460	
車-A6-75-0.9	75	600	900	990	290	560	
車-A6-75-0.95	75	600	950	1040	290	610	
車-A6-75-1.0	75	600	1000	1090	290	660	
車-A6-75-1.1	75	600	1100	1190	290	760	
車-A6-75-1.25	75	600	1250	1340	290	910	
車-A6-75-1.35	75	600	1350	1440	290	1010	
車-A6-75-1.6	75	600	1600	1690	290	1260	

【参考図】

令和7年度 管路移設事業 白市地区配水管移設工事			
種別	横断面・床掘標準断面図	縮尺	図示
工事箇所	東広島市高屋町白市	図	NO. 2
路線番号		番	計
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

# 撤去・閉栓工(平面図)

## (白市地区)

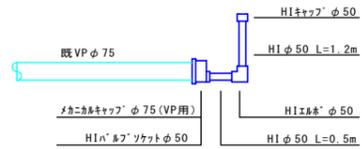
S=1:350



方位記号

### 【参考図】

充填材注入口(流出入口)



※立上配管は充填完了後、路盤下で切断しキヤップ止める。

充填材配合表

	セメント	ペントナイト	水	7&ミ粉
質量比	1	1	3.5	1/5000
1m3当たり	238kg	238kg	832kg	48g

既設管HIVPφ25撤去 L=2.350m  
 止水栓・止水栓ボックス撤去  
 車-A6'-25-0.8(1.25~0.35) L=1.000m

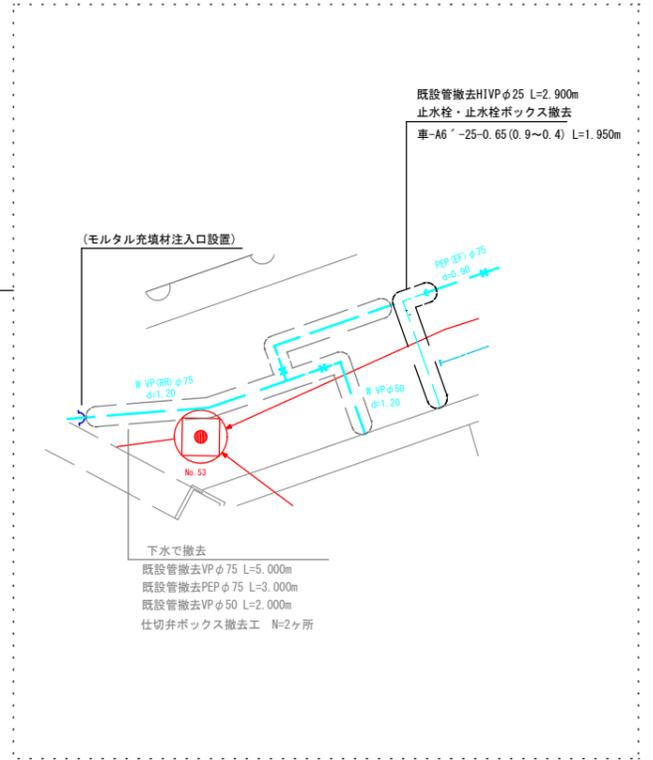
既設管VPφ75撤去 L=5.100m  
 車-A6'-75-1.2 L=5.100m

既設管VPφ75閉塞  
 (モルタル充填工) L=33.000m



### 撤去詳細図

S=1:70



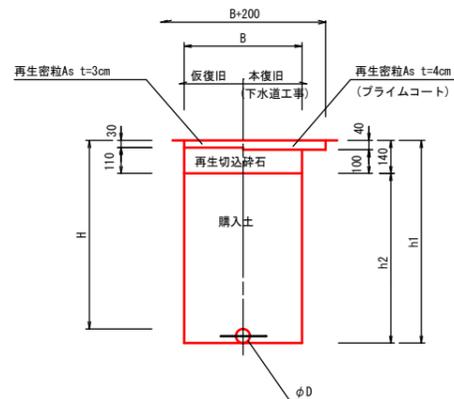
### 床掘標準断面図

S=1:15

#### 車-A6'-D-H

※本復旧は下水道工事で実施予定

舗装構成	表層	再生密粒度アスコン	t=4cm
	踏盤	再生切込砕石(RC-30)	t=10cm
	仮復旧	再生密粒度アスコン	t=3cm



※本工事は仮復旧までとし、本復旧は下水道工事で実施予定

記号	D	B	H	h1	h2	備考
車-A6'-25-0.65	25	600	650	680	540	
車-A6'-25-0.8	25	600	800	830	690	
車-A6'-75-1.2	75	600	1200	1290	1150	



### 【参考図】

令和7年度 管路移設事業 白市地区配水管移設工事			
種別	撤去・閉栓工(平面図)	縮尺	図示
工事箇所	東広島市高屋町白市	図	NO. 3
路線番号		冊	計
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			